

ヲ得減輕スヘキ情狀アルトキハ三月以上ノ禁錮ニ處ス

第九十二條 第八十九條及第九十條ニ掲ケタル行爲ノ防禦又ハ制止ニ關スル船長其他上官ノ命令ニ服従スルコトヲ拒ム船員ハ從犯トシテ處刑セララルヘキモノトス

第九十三條 船員左ノ場合ニ於テハ二十ターレル以下ノ罰金又ハ十四日以下ノ拘留ヲ以テ處刑セララル、モノトス

第一 航海簿ノ交付之ニナス登記又ハ検査ニ關スル審問ニ於テ船員官署ヲ誑惑スル爲メ眞實ノ事實ヲ變態シ又ハ掩蔽シ又ハ不實ノ事實ヲ示スト

キ

第二 第十條ノ規定ニ從ヒ検査ニ出頭スルコトヲ怠ルトキ

第三 就職ノ妨ケトナル差支ノ場合ニ於テ第十五條ノ規定ニ從ヒ船員官署ニ其旨ヲ證明スルコトヲ怠ルトキ

刑法第二百七十一條ノ規定ハ本條第一ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第九十四條 何人タリトモ眞實ナラサルコトヲ知テ船舶ノ航海不能又ハ飲食物ノ缺乏ニ付キ不實ノ主張ニ憑據スル故障ヲ船員官署ニ呈出シ及此主張ニ依テ審問ヲナスニ至ラシムル者ハ三月以下ノ禁錮ヲ以テ處



刑セラル、モノトス

何人タリトモ輕卒ヲ以テ船舶ノ航海不能又ハ飲食物ノ缺乏ニ付キ不實ノ主張ニ憑據スル故障ヲ船員官署ニ呈出シ及此主張ニ依テ審問ナナスニ至ラシムル者ハ百ターレル以下ノ罰金ヲ以テ處刑セラル、モノトス

第九十五條 此節ニ於テ又ハ刑法上規定ニ依テ處刑セ

ラルヘキ刑ノ處決ハ犯人其責ニ歸セラレタル行爲ニ依リ既ニ懲戒上罰セラレタルモ之カ爲メ妨ケラル、コトナキモノトス但其受ケタル懲罰ハ船員官署ノ處刑裁定第一百一條并ニ裁判上處刑判決ニ於テ刑ヲ測定スルノ際斟酌スルコトヲ得

第九十六條 船員ニ對シ其懲戒權ヲ濫用スル船長又ハ

其他上官ハ三百ターレル以下ノ罰金又ハ一年以下ノ禁錮ヲ以テ處刑セラル、モノトス

第九十七條 船舶ニ相當ノ飲食物ヲ備フヘキノ義務ヲ故意ヲ以テ盡サ、ル船長ハ禁錮ヲ以テ處刑セラル、モノトス之ト共ニ五百ターレル以下ノ罰金ニ處シ及公權ヲ剝奪スルコトヲ得

船長其義務ノ履行ヲ懈怠シテナサ、ル場合ニ於テ之カ爲メ船員ニ對シ其受クヘキ飲食物ヲ與ルコト能ハサルトキハ二百ターレル以下ノ罰金又ハ一年以下ノ禁錮ヲ言渡サルヘキモノトス

第九十八條 船員官署ノ許可ヲ受ルコトナクシテ船員



ナ外國ニ殘シ置ク(第七十一條)船長ハ百ターレル以下ノ罰金又ハ拘留又ハ三月以下ノ禁錮ヲ以テ處刑セラ  
ル、モノトス

第九十九條 船長左ノ場合ニ於テハ五十ターレル以下ノ罰金又ハ拘留ニ處セラ  
ル、モノトス

第一 檢査ニ付キ負擔シタル義務ヲ盡サ、ルトキ  
(第十條)

第二 檢査又ハ航海簿ニナス登記ニ關スル審問ニ於テ船員官署ヲ誑惑スル爲メ直實ノ事實ヲ變態シ又ハ掩蔽シ又ハ不實ノ事實ヲ示ストキ  
第三 死亡ノ際規定上ノ證書ノ調製及引渡ヲオサ  
ス又ハ遺留物ニ付キ負擔スル處分ヲナサ、ルト

キ(第五十二條及第五十三條)

第四 第七十七條及第八十條ニ規定シタル船舶日記ヘノ登記ヲナサ、ルトキ

第五 輕罪及重罪ノ際第二百二條及第二百三條ニ從ヒ負擔シタル義務ヲ盡サ、ルトキ

第六 船員ニ對シ已ムヲ得サルノ理由ヲクシテ船員官署ノ裁決ヲ求ルノ機會ヲ妨ルトキ(第二百五條  
第百六條)

第七 船員ニ對シ故ナク飲食物ヲ給セサルトキ

第八 此規則並ニ飲食物及寢室ニ關スル規則ノ一本ヲ船員寢室ニ備ルノ義務ヲ怠リタルトキ(第百  
八條)



刑法第二百七十一條ノ規定ハ本條第二ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第百條 第八十一條ヨリ第九十九條マテノ規定ハ罰セラルヘキ行爲ヲ獨逸領地外ニ於テナシタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

糺罪ノ期滿免除ハ此場合ニ於テハ犯人所犯ノ時屬セシ船舶ノ初テ船員官署ニ達スル日ヲ以テ始マルモノトス

第百一條 第八十一條第一項第八十四條第九十三條及第九十九條ノ場合ニ於テ其審問及裁決ハ船員官署之ヲナスモノトス船員官署ハ自己ノ責任ヲ以テ被罪者ヲ尋問シ及簡略ニ事實ヲ確定スヘキモノトス證人ノ

宣誓ハ之ヲナスコトヲ許サス審問終結ノ後ハ理由ヲ備ヘタル裁定ヲナシ被罪者在席スル場合ニ於テハ之ヲ言渡シ在席セサル場合ニ於テハ公製書ヲ以テ之ヲ送致スヘキモノトス刑ヲ確定スルトキハ無資力ノ場合ノ爲メ罰金ニ換ハルヘキ拘留ノ期限ヲ定ムヘキモノトス

其裁定ニ對シテハ被嫌疑者言渡又ハ送致ヲ受ケタル日ヨリ起算シ十日ノ期限内ニ裁判所ノ判決ヲ求ルノ申立ヲナスコトヲ得其申立ハ船員官署ニ口述シテ之ヲ筆記セシメ又ハ書面ヲ以テ之ヲナスヘキモノトス船員官署其所在地ヲ外國ニ有スルトキハ其後ノ裁判手續ヲナス爲メ船籍港所在地ノ裁判所管轄ヲ有シ其



裁判所ナキトキハ處刑確定後船舶ノ初テ達スル獨逸港ノアル地ノ裁判所管轄ヲ有スルモノトス  
船員官署ノ裁定ハ罰金徴收ニ付テハ假ニ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス

第二百二條 船舶海上又ハ外國ニアルトキ船員輕罪又ハ重罪ヲ犯ストキ船長ハ士官及其他ノ信認スヘキ人ノ立會ヲ以テ事實ノ證據及處刑ニ關係ヲ有スルコトアル總テノモノヲ詳記スヘキモノトス特ニ殺害又ハ重大ノ身体傷害ノ場合ニ於テハ其傷痕ノ形狀ヲ詳記シ亦被害者尙ホ生存セシトキハ其時間醫藥ヲ施用シタルコトノ有無及醫藥ノ種類並ニ被害者ノ用井タル飲食物ノ種類ヲ詳記スヘキモノトス

第二百三條 船長ハ罰セラルヘキ行爲ニ關與シタルノ嫌疑アル船員ノ所持品ヲ何時タリトモ搜索スル權アルモノトス

其他船長ハ重キ刑ヲ以テ罰セラルヘキ行爲第五十七條第三ヲナシタル船員ヲ捕縛スルノ權アルモノトス  
犯人逃亡ノ恐レアルトキハ其義務アルモノトス  
犯人ハ審問筆記ノ交付ト共ニ最初ニナスコトヲ得ル船員官署ニ之ヲ引渡スヘキモノトス外國ニ於テ船員官署別段ノ理由ニ依リ其引取ヲ拒ムトキハ船長ハ其後初テナスコトヲ得ル船員官署ニ引渡サナスヘキモノトス  
船長ハ已ムヲ得サル場合ニアリテハ外國ニ於テ遲延



ナク船員官署ニ達スルコト能ハサルトキ船籍港ノ管轄官署ニ送致ノ爲メ犯人ヲ外國ノ官署ニ引渡スノ權アルモノトス船長ハ最初ニナスコトヲ得ル船員官署ニ其旨ヲ届出ツヘキモノトス

第六節 通則

第四百四條 各船員官署ハ船長ト船員トノ間ニ於テ生シタル爭ヲ知了スルトキ其和解ヲ試ルノ義務アルモノトス特ニ船員ノ罷職檢査ヲナス船員官署ハ其爭ニ付キ和解試ヲナスヘキモノトス

第四百五條 船員ハ船長ニ對シ外國裁判所ニ出訴スルコトヲ許シス船員ハ此規定ニ違反スルトキハ之カ爲メ生スル損害ニ付キ責任ヲ負擔スルノミナラス又其時

マテ受クヘキ給料ヲ失フモノトス  
船員ハ延滞ヲ許サル場合ニ於テハ假ニ船員官署ノ裁決ヲ求ルコトヲ得船長ハ已ムヲ得サルノ理由アルニアラサレハ其機會ヲ妨ルコトヲ許サス  
其各方ハ船員官署ノ裁決ニ一時服従スヘキモノトス但其航海ヲ終リタル後管轄官署ニ其權利ヲ申立ルノ權ハ之カ爲メ妨ケラレサルモノトス  
船舶ノ權制賣却ノ場合ニ於テハ職務契約又ハ給料契約ニ依テ生スル船員ノ要求ノ申立ニ付キ本條第一項ヲ適用スルコトヲ得ス  
第四百六條 內國ニ於テ就職檢査ノ後船長ト船員トノ間ニ於テ就職又ハ續勤ニ付テ生スル爭ハ船員官署司法



裁判ヲ求ルノ權ヲ害スルコトナクシテ之ヲ裁決スル  
モノトス其裁決ハ假ニ之ヲ執行スルコトヲ得

第一百七條 本節ノ規定ニ依リ確定シタル罰金又ハ言渡  
シタル罰金ハ船員出納所ニ納マリ其出納所ナキトキ  
ハ犯人所犯ノ時属セシ船舶ノ船籍港所在地ノ貧民救  
助出納所ニ納マルモノトス但各邦ノ法律ヲ以テ之ニ  
類スル他ノ目的ヲ定ルトキハ此限ニアラス

第一百八條 此規則并ニ飲食物及寢室ニ付キ船舶ノ爲メ  
定メタル規定第四十五條ハ何時ニテモ船員ノ展閱ニ  
供スル爲メ其一本ヲ船員寢室ニ備ヘ置クヘキモノト  
ス

第一百九條 各邦政府ハ規則ヲ以テ第五條ヨリ第二十三

條マテ及第四十八條ヨリ第五十二條マテノ規定ヲ小  
舟沿岸通行船等ニ適用セサルコトヲ定ルヲ得

第一百十條 此規則ハ千八百七十三年三月一日ヨリ其効  
力ヲ有スルモノトス

商法第五編第四章ハ同日ヨリ其効力ヲ失フモノトス  
第一百一條 他ノ法律ニ於テ此規則ノ爲メニ効力ヲ失  
ヒタル規定ヲ引用スル場合ニ於テハ此規則ノ之ニ相  
當スル規定ヲ以テ代ルモノトス

第五章 荷物ノ運送取引

第一百五十七條 荷物運送契約ハ左ニ掲ルモノニ付キ  
之ヲ取結フモノトス

第一 船舶ノ全部又ハ一部又ハ一定ノ場所



第二 各個ノ荷物

第五百五十八條 船舶ノ全部又ハ一部又ハ一定ノ場所  
ヲ賃貸スルトキ其各方ハ契約ニ付キ證書(船舶貸借契  
約書)ヲ作ルコトヲ求ルヲ得

第五百五十九條 船舶全部ノ賃貸ニハ船室ハ之ヲ包含  
セサルモノトス但船舶賃借人ノ承諾ナクシテ荷物ヲ  
船室ニ積込ムコトヲ許サス

第五百六十條 運送契約ノ各種類(第五百五十七條)ニ關  
シ船舶賃借人ハ船舶ヲ航海ニ堪ル狀況ニ於テ引渡ス  
ヘキモノトス

船舶賃借人ハ船舶賃借人ニ對シ船舶ノ瑕疵アル狀況  
ヨリ生スル各個ノ損害ニ付キ其責ヲ負擔スルモノト

ス但其瑕疵總テノ注意ヲナシタルモ之ヲ發見スルコ  
ト能ハザリシトキハ此限ニアラス

第五百六十一條 船長ハ積荷ヲ受取ル爲メ船舶ヲ船舶  
賃借人ヨリ指定シタル場所ニ廻シ又ハ船舶ヲ數人ニ  
賃貸シタルトキハ船舶賃借人總員ヨリ之ニ指定シタ  
ル場所ニ廻ハスヘキモノトス

其指定ヲ速ニサ、ルトキ又ハ船舶賃借人總員同一  
ノ場所ヲ指定セザルトキ又ハ水ノ深淺、船舶ノ安否又  
ハ其地ノ規則又ハ制度ニ於テ其指定ニ從フコトヲ許  
サ、ルトキ船長ハ其地慣例上ノ荷積場ニ碇繋スヘキ  
モノトス

第五百六十二條 契約又ハ荷物引渡港ノ規則ニ依リ及



其契約規則ナキトキハ荷物引渡港ニ現行スル慣例ニ依リ別段ノ定メナキトキニ限り荷物ハ船舶賃借人ニ於テ船舶マテノ費用ヲ負擔シテ之ヲ引渡シ船舶内ニ荷物積込ノ費用ハ船舶賃借人ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノトス

第五百六十三條 船舶賃借人ハ契約上荷物ニ代ヘ船舶賃借人ニ於テ同一ノ到達港ヘ運送ノ爲メ依頼シタル他ノ荷物ヲ受取ルヘキモノトス但之カ爲メ困難ナル狀況ヲ生スルトキハ此限ニアラス  
此定メハ契約ニ於テ荷物ヲ其種類ニ於テノミナラス各個ニ記載シタルトキハ之ヲ適用セサルモノトス  
第五百六十四條 積込ミタル荷物ヲ不正ニ記載シ又ハ

戰時禁制品又ハ到達港ニ於テ輸出入ヲ禁シタル荷物ヲ積込ミ又ハ荷物引渡ノ際法律上規定特ニ警察規則租稅規則及關稅規則ニ違反スル船舶賃借人又ハ荷物引渡人ハ過失其責ニ歸スルトキニ限り船舶賃借人ニ對シテノミナラス其他第四百七十九條第一項ニ記載シタル總テノ者ニ對シ自己ノ處置ニ依リ生シタル滞在及其他各個ノ損害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス  
其賃借人又ハ荷物引渡人ハ船長ノ承諾ヲ以テ處置シタルモ其責任ヲ其他ノ者ニ對シ免ル、コトナキモノトス  
其賃借人又ハ荷物引渡人ハ荷物ノ沒收ヲ以テ運賃ノ支拂ヲ拒ムノ理由トスルコトヲ得ス



荷物船舶又ハ其他ノ積荷ヲ危険ナラシムルトキ船長  
ハ其荷物ヲ荷卸シ又ハ已ムヲ得サル場合ニ於テハ之  
ヲ投棄スルノ權アルモノトス

第五百六十五條 船長ノ承諾ナクシテ荷物ヲ船舶ニ持  
込ム者モ亦前條ノ規定ニ從ヒ之カ爲メ生スル損害ヲ  
賠償スルノ義務アルモノトス船長ハ其荷物ヲ荷却シ  
又ハ荷物船舶又ハ其他ノ荷物ヲ危険ナラシムルトキ  
已ムヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ投棄スルノ權アルモ  
ノトス船長荷物ヲ船舶ニ存シタルトキハ之カ爲メ荷  
物引渡地ニ於テ其際同一ノ航海及荷物ニ付キ約定シ  
タル最高運賃額ヲ支拂フヘキモノトス

第五百六十六條 船舶賃貸人ハ船舶賃借人ノ承諾ナク

シテ荷物ヲ他ノ船舶ニ積替ルノ權ヲキモノトス船舶  
賃貸人此規定ニ背反スルトキハ各個ノ損害ニ付キ責  
任ヲ負擔スルモノトス但船舶賃貸人ニ於テ其損害荷  
物ヲ他ノ船舶ニ積替ヘサリシトキト雖生スヘキコト  
及船舶賃借人ノ責ニ歸スヘキコトヲ證明スルトキハ  
此限ニアラス

航海ヲ始メタル後已ムヲ得サル場合ニ於テナス他ノ  
船舶ヘノ積替ニハ本條ヲ適用セサルモノトス

第五百六十七條 荷物引渡人ノ承諾ナクシテ荷物ヲ甲  
板上ニ積置キ及船舶ノ側方ニ掛ケ置クコトヲ許サス  
沿岸通行ニ付キ其甲板上積荷ニ關スルトキニ限り前  
項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ定ルハ之ヲ各邦法律ニ



任カス

第五百六十八條 船舶全部ノ賃貸ノ場合ニアリテハ船  
 長ハ積荷ヲ受取ル爲メ用意シタルトキ直ニ之ヲ船舶  
 賃借人ニ通知スヘキモノトス  
 荷積期限ハ其通知ノ翌日ヲ以テ始マルモノトス  
 船舶賃貸人ハ荷積期限ヲ超ヘテ尙ホ荷物引渡ヲ待ツ  
 ヘキモノトス(猶豫期限)但契約アルトキニ限ル  
 荷積期限ニ付テハ反對ノ契約ナキトキニ限り特別ノ  
 報酬ヲ求ルコトヲ得ス船舶賃借人ハ船舶賃貸人ニ猶  
 豫期限ニ付キ報酬(猶豫金)ヲ與フヘキモノトス  
 第五百六十九條 荷積期限ヲ契約ヲ以テ確定シタルト  
 キ其期限ハ荷物引渡港ノ規則ニ依リ其規則ナキトキ

ハ其港ニ現行スル慣例ニ依テ定マルモノトス此慣例  
 モ亦ナキトキハ其場合ノ狀況ニ適當スル期限ヲ以テ  
 荷積期限ト看做ス

契約ヲ以テ猶豫ヲ定メタルモ其期限ニ付キ定メナキ  
 トキハ猶豫期限ハ十四日ナリトス  
 契約ニ單ニ猶豫金ノ定メヲ掲ルトキハ猶豫ハ期限ヲ  
 定ルコトナクシテ契約シタルモノト看做ス

第五百七十條 荷積期限又ハ期限ノ終ルヘキ日ヲ契約  
 ヲ以テ定メタルトキ猶豫期限ハ荷積期限ノ經過ヲ以  
 テ直ニ始マルモノトス  
 此契約上定メナキトキ猶豫期限ハ船舶賃貸人船舶賃  
 借人ニ對シ荷積期限ノ經過シタルコトヲ陳述シタル



後初テ始マルモノトス船舶賃貸人ハ荷積期限内ト雖  
船舶賃借人ニ對シ其期限何レノ日ニ經過シタリトス  
ルヤヲ陳述スルコトヲ得此場合ニ於テハ荷積期限ノ  
終リ及猶豫期限ノ始マル爲メ更ニ船舶賃貸人ノ陳述  
ヲ要セサルモノトス

第五百七十一條 荷積期限ノ終リタル後又ハ猶豫期限  
ヲ契約シタルトキハ其期限ノ終リタル後ハ船舶賃貸  
人ハ其後荷物引渡ヲ待ツノ義務ナキモノトス但船舶  
賃貸人ハ其後待タサルコトノ意ヲ荷積期限又ハ猶豫  
期限ノ終ル三日前ニ船舶賃借人ニ陳述スヘキモノトス  
此陳述ヲナサ、ルトキ荷積期限又ハ猶豫期限ハ其陳  
述ヲ補ヒ及其陳述ヲナシタル日ヨリ三日ヲ經過シタ

ル後ニアラサレハ終ハラサルモノトス

本條ニ記載シタル三日ハ總テノ場合ニ於テ曆ニ從ヒ  
間斷ナク經過スル口トシテ之ヲ算フルモノトス

第五百七十二條 第五百七十條及第五百七十一條ニ記  
載シタル船舶賃貸人ノ陳述ハ別段ノ式ヲ用ルコトヲ  
要セス船舶賃借人其陳述書ノ受取證ヲ充分ナル方法  
ヲ以テ記載スルコトヲ拒ムトキ船舶賃貸人ハ之ニ付  
キ船舶賃借人ノ費用ヲ以テ公製證書ヲ作ラシムルノ  
權アルモノトス

第五百七十三條 猶豫金ハ契約ヲ以テ定メサルトキ裁  
判官ノ衡平ノ見込ヲ以テ之ヲ確定シ已ムヲ得サル場  
合ニ於テハ鑑定人ヲ尋問シタル後之ヲ確定スルモノ



トス

裁判官ハ此場合ニ於テ場合ノ詳細ナル狀況特ニ船舶乗組員ノ給料額及賄料并ニ船舶賃貸人ノ損失トナルヘキ運賃ヲ斟酌スヘキモノトス

第五百七十四條 荷積期限及猶豫期限ノ計算ニ方リテハ其日ハ間斷ナク經過スル順序ニ於テ算フルモノトス特ニ日曜日及祭日并ニ船舶賃借人事變ニ依リ荷積ヲ引渡スコトヲ妨ケラレタル日ハ之ヲ算入スルモノトス

但風及天氣ニ依リ又ハ其他或ル事變ニ依リ左ノ妨ケヲ受ケタル日ハ之ヲ算入セサルモノトス

第一 契約シタル積荷ノミナラス各種ノ積荷ヲ船

船ニ引渡スコトヲ妨ケラレタルトキ

第二 積荷ノ受取ヲ妨ケラレタルトキ

第五百七十五條 船舶賃貸人ハ各種ノ積荷引渡ヲ妨ケラレタルカ爲メ長ク待ツヘキ日ニ付テハ其妨ケ荷積期限ニ生シタルトキト雖猶豫金ヲ受ルコトヲ得船舶賃貸人積荷受取ヲ妨ケラレタル爲メ長ク待ツヘキ日ニ付テハ其妨ケ猶豫期限内ニ生シタルトキト雖猶豫金ヲ受取ルノ權ナキモノトス

第五百七十六條 第五百六十九條ノ規定ニ從ヒ荷積期限ニ付キ其地ノ規則又ハ慣例ニ準據スヘキトキ荷積期限ノ計算ニ方リ前二條ノ規定ハ其地ノ規則又ハ慣例ニ於テ之ニ違フ定メナキトキニ限り之ヲ適用スル



第五百七十七條 船舶賃貸人荷物引渡ヲ一定ノ日マテニ終ルヘキコトヲ約定シタルトキハ各種ノ積荷引渡ヲ妨ケラレタル(第五百七十四條第一)モ之カ爲メ長ク待ツノ義務ヲ負擔スルコトナキモノトス

第五百七十八條 船舶賃貸人他人ヨリ積荷ヲ受取ルヘキ場合ニシテ船舶賃貸人ニ於テ他人ニ其地ノ慣例ニ依リ積荷ノ準備整ヒタルコトヲ通知スルモ之ヲ索知スルコト能ハサルトキ又ハ他人積荷ノ引渡ヲ拒ムトキ船舶賃貸人ハ船舶賃借人ニ速ニ其旨ヲ通知シ及猶豫期限ヲ契約シタルモ積荷期限ノ經過スルマテニ限リ荷物引渡ヲ待ツヘキモノトス但船舶賃貸人船舶賃

借人又ハ其代人ヨリ尙ホ積荷期限ニ於テ反對ノ差圖ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス  
荷積期限及荷卸期限ヲ合シテ一期限ヲ定メタルトキ前項ノ場合ニアリテハ其期限ノ二分一ヲ荷積期限ト看做スモノトス

第五百七十九條 船舶賃貸人ハ船舶賃借人ノ求メニ依リ約束シタル積荷ノ全部ヲ積込マサルモ航海ヲ始ムヘキモノトス此場合ニ於テ船舶賃貸人ハ運賃ノ全額及猶豫金ノ約束アルトキハ其猶豫金ヲ要求スルノ權アルノミナラス積荷ノ不充分ナルニ依リ運賃全額ニ付テノ保證ヲ缺クトキニ限り他ノ方法ヲ以テ保證ヲナスヘキコトヲ要求スルノ權アルモノトス其他積荷



ノ不充分ナルカ爲メ船舶賃貸人ニ於テ多分ノ費用ヲ生スルトキ其費用ハ船舶賃借人ヨリ之ニ辨償スヘキモノトス

第五百八十條 船舶賃借人船舶賃貸人ニ於テ荷物引渡ヲ待ツノ義務ヲ負擔シタル期限(待留期限)ノ經過スルマテニ其引渡ヲ全ク終ヘサルトキ船舶賃貸人ハ船舶賃借人ニ於テ解約セサルトキニ限り航海ヲ始メ及前條ニ記載シタル要求ヲ申立ルノ權アルモノトス

第五百八十一條 船舶賃借人ハ單航海ト復航海トヲ問ハス其航海ヲ始ル前約定シタル運賃ノ半額ヲ補償運賃トシテ支拂フノ義務ヲ負擔シテ解約スルコトヲ得此規定ヲ適用スルニ方リ航海ハ左ノ場合ニ於テ既ニ

始マリダリト看做スモノトス

第一 船舶賃借人船長ニ對シ既ニ荷物引渡ノ終ハリタルコトヲ認メタルトキ

第二 荷物ノ全部又ハ一部ヲ引渡シ及待留期限ノ經過シタルトキ

第五百八十二條 船舶賃借人荷物ヲ引渡シタル後前條ニ掲ケタル權利ヲ使用スルトキハ其荷積及荷卸ノ費用ヲモ擔當シ及成ルヘク速ニナスヘキ荷卸ノ時間ニ付キ猶豫金第五百七十三條ヲ支拂フヘキモノトス但其荷卸ノ時間荷積期限内ニアルトキハ此限ニアラス船舶賃貸人ハ荷卸ノ爲メ生スル滞在ニ依リ待留期限ヲ超ルトキト雖其滞在ヲ承諾スルノ義務アルモノト



ス此場合ニ於テ船舶賃貸人ハ待留期限經過後ノ時間ニ付キ猶豫金及待留期限ヲ超ルニ依リ生シタル損害賠償ヲ要求スルノ權アルモノトス但其損害ハ猶豫金額ヲ超過シタルコトヲ證明スルトキニ限ル

第五百八十三條 第五百八十一條ノ意義ニ於テ航海ノ始マリタル後ハ船舶賃借人ハ運賃ノ全額并ニ其他船舶賃貸人ノ總テノ要求第六百十五條ヲ支拂ヒ及第六百十六條ニ記載シタル要求ヲ支拂ヒ又ハ保證スルニアラサレハ解約ヲナシ及荷物ノ荷卸ヲ要求スルコトヲ得ス

荷卸ノ場合ニ於テハ船舶賃借人ハ之ニ依テ生シタル多分ノ費用ノミナラス亦荷卸ノ爲メ生シタル滞在ニ

依リ船舶賃貸人ニ生スル損害ヲモ賠償スヘキモノトス

船舶賃貸人ハ荷物荷卸ノ爲メ航海ヲ變更シ又ハ寄港スルノ義務ナキモノトス

第五百八十四條 船舶賃借人船舶ヲ同時ニ歸航ノ積荷ノ爲メ賃借スル場合又ハ其契約ヲ實行スルニ方リ積荷ヲ受取ル爲メ他ノ港ヨリ航海ヲナスヘキ場合ニシテ歸航ヲ始ル前又ハ第五百八十一條ノ意義ニ於テ航海ヲ荷物引渡港ヨリ始ル前解約スルトキハ運賃全額ニ代ヘ其三分ニ限リ補償運賃トシテ支拂フノ義務アルモノトス

第五百八十五條 他ノ復航海ニ方リ船舶賃借人最終ノ



航海部ニ關シ第五百八十一條ノ意義ニ於テ航海ヲ始  
ル前解約ヲナストキ船舶賃貸人ハ補償運賃トシテ運  
賃全額ヲ受ルモノトス但狀況ニ於テ船舶賃貸人解約  
ノ爲メ費用ヲ省キ及他ニ運賃ヲ得ルノ機會ヲ有シタ  
リト認ルノ理由アルトキニ限り運賃全額ヨリ相當ノ  
部分ヲ引去ルモノトス  
契約者雙方ニ於テ引去ル部分ノ諾否又ハ其多寡ニ付  
キ協議調ハサルトキハ裁判官之ニ付キ衡平ノ見込ヲ  
以テ裁決スルモノトス  
引去部分ハ何レノ場合ニ於テモ運賃ノ半額ヲ超ルコ  
トヲ許サス

第五百八十六條 船舶賃借人待留期限ノ經過スルマテ

ニ一モ積荷ヲ引渡サ、ルトキ船舶賃貸人ハ其後ハ契  
約ニ依リ負擔シタル義務ニ拘束セラレサルモノトス  
及船舶賃借人契約ヲ解除シタルトキ(第五百八十一條  
第五百八十四條第五百八十五條)有スヘキ請求ヲ其賃  
借人ニ對シ申立ルノ權アルモノトス  
第五百八十七條 船舶賃貸人他ノ積荷ノ爲メ受取ル運  
賃ハ之ヲ補償運賃ニ算入セサルモノトス  
但第五百八十五條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ノ爲メ  
變更ヲ受ルコトナキモノトス  
補償運賃ニ關スル船舶賃貸人ノ請求ハ船舶賃貸人ニ  
於テ契約ニ記載シタル航海ヲナスト否トニ關係ナキ  
モノトス



猶豫金ニ關スル船舶賃貸人ノ請求及其他之ニ屬スル要求アルトキ其要求(第六百十五條)ハ補償運賃ノ爲メ無効トナルコトナキモノトス

第五百八十八條 船舶ノ一部又ハ一定ノ場所ヲ賃貸シタルトキハ第五百六十八條ヨリ第五百八十七條マテノ規定ヲ適用スルモノトス但左ノ場合ハ格別ナリトス

第一 船舶賃貸人ハ此諸條ニ從ヒ運賃ノ一部ヲ以テ満足スヘキ場合ニ於テハ補償運賃トシテ全運賃額ヲ受取ルモノトス但船舶賃借人總員解約シ又ハ一モ積荷ヲ引渡サ、ルトキハ此限ニアラス但船舶賃貸人引渡サ、ル積荷ニ代ヘテ受取りタ

ル荷物ニ付テノ運賃ハ運賃全額ヨリ之ヲ引去ルモノトス

第二 第五百八十二條及第五百八十三條ノ場合ニ於テ船舶賃借人ハ荷卸ニ依リ航海ノ淹滞ヲ生セシメ又ハ積替ヲナサ、ルヘカラサリシトキハ其他總テノ船舶賃借人ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ荷卸ヲ求ルコトヲ得ス其他船舶賃借人ハ荷卸ニ依リ生スル費用并ニ損害ヲ償フノ義務アルモノトス  
船舶賃借人總員解約ノ權ヲ使用スルトキハ第五百八十二條及第五百八十三條ノ規定ヲ適用スルモノトス



第五百八十九條 運送契約各個荷物ニ關スルトキ船舶  
賃借人ハ船長ノ督促ニ依リ遅延ナク荷物引渡ヲナス  
ヘキモノトス

船舶賃借人之ヲナサ、ルトキ船舶賃借人ハ荷物ノ引  
渡ヲ待ツノ義務ナキモノトス船舶賃借人ハ其荷物ナ  
クシテ航海ヲ始ルトキト雖運賃全額ヲ支拂フヘキモ  
ノトス但船舶賃借人其引渡サ、ル荷物ニ代ヘ受取り  
タル荷物ニ付テノ運賃ハ之ヲ運賃全額ヨリ引キ去ル  
モノトス

引渡ヲ怠リタル船舶賃借人ニ對シ運賃ニ付テノ請求  
ヲ申立ル船舶賃借人ハ出航前其旨ヲ船舶賃借人ニ陳  
述スヘキノ義務アルモノトス之ヲ怠ルトキハ其請求

權ヲ失フモノトス此陳述ニ付テハ第五百七十二條ノ  
規定ヲ適用ス

第五百九十條 荷物引渡ノ後船舶賃借人ハ運賃全額其  
他船舶賃借人ノ要求(第六百十五條)ノ支拂ヲナシ及第  
六百十六條ニ掲ケタル要求ノ支拂又ハ保證ヲナスト  
キト雖第五百八十八條第二ノ前段ニ依ルニアラサレ  
ハ解約ヲナシ及荷物ノ荷卸ヲ要求スルコトヲ得ス  
其他此場合ニモ亦第五百八十三條末項ノ規定ヲ適用  
スルモノトス

第五百九十一條 船舶各個荷物ノ爲メ碇繫シ出航ノ時  
ヲ定メサルトキハ船舶賃借人ノ申立ニ依リ裁判官ハ  
場合ノ狀況ニ從ヒ始航ヲ遷延スルコトヲ得ヘカラサ



ル時限ヲ定ムヘキモノトス

第五百九十二條 各種ノ運送契約ニアリテハ船舶賃借人ハ荷物ヲ引渡スヘキ期限内同時ニ船長ニ荷物ヲ船積スル爲メ必要ナル書類ヲ交付スヘキモノトス

第五百九十三條 船長ハ荷卸スル爲メ積荷ノ引渡ヲ受クヘキ者(荷物受取人)又ハ數名ノ荷物受取人ニ積荷ヲ引渡スヘキトキハ其受取總員ヨリ指定スル場所ニ船舶ヲ廻スヘキモノトス

其指定ヲ速ニサ、ルトキ又ハ受取人總員ヨリ同一ノ場所ヲ指定セサルトキ又ハ水ノ深淺船舶ノ安否又ハ其地ノ規則又ハ制度ニ於テ其指定ニ從フコトヲ許サ、ルトキ船長ハ其地慣例上ノ荷卸場ニ碇繋スヘキ

モノトス

第五百九十四條 契約ニ依リ又ハ荷卸港ノ規則ニ依リ及契約規則ナキ場合ニ於テハ其港ニ現行スル慣例ニ依リ他ノ定メナキトキニ限リ船舶ヨリ荷卸スル費用ハ船舶賃貸人ニ於テ之ヲ擔當シ其他總テ荷卸ノ費用ハ荷物受取人之ヲ擔當スルモノトス

第五百九十五條 船舶全部ノ賃貸ニアリテハ船長ハ荷卸ノ用意整ヒタルトキ直ニ其旨ヲ荷物受取人ニ通知スヘキモノトス

其通知ハ荷物受取人船長ニ知レサルトキハ其地ノ慣例ニ依リ公告ヲ以テ之ヲナスヘキモノトス  
荷卸期限ハ其公告ノ翌日ヲ以テ始マルモノトス



船舶賃貸人ハ契約ヲシタルトキニ限り荷卸期限ヲ超ヘテ尙ホ荷物受取ヲ待ツヘキモノトス(猶豫期限)荷卸期限ニ付テハ反對ヲ契約セサルトキニ限り別段ノ報酬ヲ求ルコトヲ得ス但猶豫期限ニ付テハ報酬猶豫金ヲ船舶賃貸人ニ與フヘキモノトス

猶豫金ハ契約ヲ以テ定メサルトキニ限り裁判官ニ於テ第五百七十三條ニ依リ之ヲ確定スルモノトス

第五百九十六條 荷卸期限ヲ契約ヲ以テ確定セサルトキ其期限ハ荷卸港ノ規則ニ依リ其規則ナキトキハ其港ニ現行スル慣例ニ依リ之ヲ定ルモノトス此慣例モ亦ナキトキハ其場合ノ狀況ニ適切ナル期限ヲ荷卸期限ト看做スモノトス

契約ヲ以テ猶豫ヲ定メタルモ其期限ヲ定メサルトキハ猶豫期限ハ十四日ナリトス

契約ニ猶豫金ノ定メノミヲ掲ルトキ猶豫ハ其期限ヲ定ルコトナクシテ契約シタルモノト看做スヘキモノトス

第五百九十七條 荷卸期限又ハ其期限ノ終ルヘキ日ヲ契約ヲ以テ定メタルトキ猶豫期限ハ荷卸期限ノ經過ヲ以テ直ニ始マルモノトス

此契約ノ定メナキトキ猶豫期限ハ船舶賃貸人ニ於テ荷物受取人ニ對シ荷卸期限ノ經過シタルコトヲ陳述シタル後初テ始マルモノトス船舶賃貸人ハ荷卸期限内ト雖其期限ヲ經過シタリトスル日ヲ荷物受取人ニ



陳述スルコトヲ得此場合ニ於テハ荷卸期限ノ終リ及  
猶豫期限ノ始マル爲メ更ニ船舶賃貸人ノ陳述ヲ要セ  
サルモノトス

本條ニ掲ケタル船舶賃貸人ノ陳述ニハ第五百七十二  
條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第五百九十八條 荷卸期限及猶豫期限ノ計算ニ方リテ  
ハ間斷ナク經過スル順序ニ於テ日ヲ算フルモノトス  
特ニ日曜日及祭日并ニ荷物受取人ノ事變ニ依リ積荷  
ヲ受取ルコトヲ妨ケラレタル日ヲ算入スルモノトス  
但風及天氣ニ依リ又ハ其他或ル事變ニ依リ左ノ妨ケ  
ヲ受ケタル日ハ之ヲ算入セサルモノトス

第一 船舶ニ存スル積荷ノミナラス各種ノ積荷ヲ

船舶ヨリ陸ニ運搬スルコトヲ妨ケラレタルトキ

第二 船舶ヨリ荷卸スルコトヲ妨ケラレタルトキ

第五百九十九條 船舶賃貸人ハ各種ノ積荷ヲ船舶ヨリ  
陸ニ運搬スルコトヲ妨ケラレタルカ爲メ長ク待タサ  
ルヘカラサリシ日數ニ付テハ其妨ケノ荷卸期限内ニ  
生シタルトキト雖猶豫金ヲ請求スルノ權アルモノト  
ス船舶賃借人ハ船舶ヨリ荷卸スルコトヲ妨ケラレタ  
ルカ爲メ長ク待タサルヘカラサリシ日數ニ付テハ其  
妨ケ猶豫期限内ニ生シタルトキト雖猶豫金ノ支拂ヲ  
ナスノ義務ナギモノトス

第六百條 第五百九十六條ニ從ヒ荷卸期限ニ付キ其地  
ノ規則又ハ慣例標準トナルトキ其期限計算ニ方リテ



ハ前二條ヲ適用スルモノトス但其規則又ハ慣例ニ於テ之ニ違フ定メナキトキニ限ル

第六百一條 船舶賃貸人一定ノ期日マテニ荷卸ヲ終ルヘキコトヲ契約シタルトキハ各種ノ積荷ヲ船舶ヨリ陸ニ運搬スルコトヲ妨ケラレタルモ(第五百九十八條第一)長ク待ツノ義務ヲ負擔スルコトナキモノトス

第六百二條 荷物受取人荷物ヲ受取ル爲メ準備整ヒタルコトヲ陳述スルモ自己ノ守ルヘキ期限ヲ超ヘテ其受取ヲ淹滞スルトキハ船長ハ受取人ニ通知シテ其荷物ヲ裁判所又ハ其他確カナル方法ヲ以テ藏寄スルノ權アルモノトス

船長ハ受取人ニ於テ其荷物ノ受取ヲ拒ムトキ又ハ第五百九十五條ニ規定シタル通知ヲ受ルモ其受取ニ付キ陳述セザルトキ又ハ受取人ヲ索知スルコト能ハサルトキハ前項ノ方法ヲ以テ處分シ同時ニ船舶賃借人ニ其旨ヲ通知スルノ義務アルモノトス

第六百三條 荷物受取人ノ懈怠ニ依リ又ハ藏寄處分ニ依リ船長ノ過失ナクシテ荷卸期限ヲ超ヘタル日數ニ限リ船舶賃貸人ハ猶豫金ヲ請求スルノ權アルモノトス(第五百九十五條)但其荷卸期限契約上ノ猶豫期限ニアラザルトキニ限り之ヨリ高額ノ損害ヲ證明シテ申立ルノ權ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナシ

第六百四條 第五百九十五條ヨリ第六百三條マテハ船舶ノ一部又ハ一定ノ場所ヲ賃貸シタルトキト雖之ヲ



適用スルモノトス

第六百五條 各個荷物ノ受取人ハ船長ノ督促アリタルトキ遅延ナク其荷物ヲ受取ルヘキモノトス受取人船長ニ知レサルトキハ其督促ハ其地慣例ニ依リ公告ヲ以テ之ヲナスヘキモノトス

船長荷物ヲ藏寄スルノ權利及義務ニ付テハ第六百二條ノ規定ヲ適用スルモノトス第六百二條ニ規定シタル船舶賃借人ヘノ通知ハ其地ノ慣例ニ依リ公告ヲ以テ之ヲナスコトヲ得

荷物受取人ノ懈怠ニ依リ又ハ藏寄處分ニ依リ船舶荷卸ヲナシタルヘキ期限ヲ超ヘタル日數ニ付キ船舶賃借人ハ猶豫金ヲ受ルノ權アルモノトス(第五百九十五

條)但之ヨリ高額ノ損害ヲ證明シテ申立ルノ權ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナシ

第六百六條 船舶ノ全部又ハ一部又ハ一定ノ場所ヲ賃貸スルニ方リ船舶賃借人各個荷物ニ付キ運送復契約ヲナシタルトキ船舶原賃借人ノ權利及義務ニ付テハ第五百九十五條ヨリ第六百三條マテニ從フモノトス

第六百七條 船舶賃借人ハ荷物ヲ受取リタルヨリ引渡スマテニ於テ荷物ノ喪失又ハ損傷ニ依リ生シタル損害ニ付キ責ヲ負擔スルモノトス但船舶賃借人ニ於テ其喪失又ハ損傷天災ニ依リ又ハ荷物ノ性質ニ依リ特ニ損敗揮散通常ノ漏失等ニ依リ又ハ外部ヨリ檢知スヘカラサル外包ノ瑕疵ニ依リ生シタルコトヲ證明シ



タルトキハ此限ニアラス  
總テノ注意ヲナシタルモ發見スルコト能ハサリシ船  
舶ノ瑕缺アル狀況ニ依リ生スル喪失及損傷(第五百六  
十條第二項)ハ天災ニ依リ生スル喪失又ハ損傷ト同視  
スルモノトス

第六百八條 高價物、金錢及有價證券ニ付テハ船舶賃貸  
人ハ其性質又ハ荷物ノ價額ヲ荷物引渡ノ際船長ニ明  
示シタル場合ニ限り責任ヲ負擔スルモノトス

第六百九條 荷物受取人荷物ヲ引受ル前其受取人并ニ  
船長ハ荷物ノ現狀又ハ數量ヲ確定スル爲メ其檢視ヲ  
管轄官署又ハ之カ爲メ官ヨリ任セラレタル鑑定人ニ  
ナサシムルコトヲ得

此手續ヲナスニ方リ狀況ノ許ス限リハ其地ニ現在ス  
ル對手ヲ立會ハシムヘキモノトス

第六百十條 其引受前檢視ヲナサ、ルトキハ荷物受取  
人ハ引受ノ翌日ヨリ四十八時内ニ第六百九條ノ規定  
ニ從ヒ荷物ノ追補檢視ヲナスヘキモノトス之ニ違フ  
トキハ損傷又ハ一部ノ喪失ニ付テノ總テノ請求權消  
滅スルモノトス此場合ニ於テハ其喪失及損傷ヲ外部  
ヨリ檢知スルコトヲ得シト否トヲ區別セサルモノト  
ス

此定メハ船舶乗組員ノ惡意ノ處置ニ依リ生シタル喪  
失及損傷ニハ之ヲ適用セサルモノトス

第六百十一條 檢視ノ費用ハ之ヲ申立テタル者擔當ス



へキモノトス  
但其檢視ヲ荷物受取人ヨリ申立テ及船舶賃貸人ニ於  
テ賠償ヲナスヘキ喪失又ハ損傷ヲ發見シタルトキ其  
費用ハ船舶賃貸人ノ責ニ歸スルモノトス

第六百十二條 第六百七條ニ依リ荷物ノ喪失ニ付キ賠  
償ヲナスヘキトキハ單ニ喪失シタル荷物ノ價額ヲ償  
フヘキモノトス其價額ハ同一ノ種類及性質ノ荷物喪  
失シタル荷物ノ到達地ニ於テ船舶荷卸ヲ始ルノ際有  
スル市價又ハ船舶此地ニ於テ荷卸ヲナサ、ルトキハ  
其到達ノ際到達地ニ於テ有スル市價ニ依テ之ヲ定ル  
モノトス  
市價ナキトキ又ハ市價ニ付キ又ハ其適用ニ付キ特ニ

荷物ノ性質ニ關シ疑ノ存スル場合ニアリテハ其代價  
ハ鑑定人ヲシテ檢定セシムルモノトス  
荷物ノ喪失ノ爲メ運賃關稅及雜費ニ付キ餘シタルモ  
ノハ之ヲ代價ノ内ヨリ引去ルモノトス  
荷物ノ到達地ニ達セサルトキ其到達地ニ代ハルモノ  
ハ航海ノ終ル地又ハ船舶ノ喪失ニ依リ航海ヲ終ルト  
キハ積荷ヲ安全ニナシタル地ナリトス  
第六百十三條 第六百十二條ノ規定ハ船主第五百十條  
ニ依リ賠償ヲナスヘキ荷物ニモ亦之ヲ適用スルモノ  
トス  
賣却ヲ以テ荷物ノ處分ヲナス場合ニ於テ其賣却純金  
第六百十二條ニ記載シタル代價ヲ超ルトキハ其賣却



純金ハ其代價ニ代ハルモノトス

第六百十四條 第六百七條ニ依リ荷物ノ損傷ニ付キ賠償ヲナスヘキトキハ單ニ損傷ニ依テ生シタル荷物ノ減少價格ヲ償フヘキモノトス此減少價額ハ鑑定人ニ於テ檢定スヘキ賣却價額ニシテ荷物ノ損傷シタル現狀ニ於テ有スルモノト損傷ノ爲メ餘シタル關稅及雜費ヲ引去リタル後ノ代價ニシテ第六百十二條ニ記載シタルモノトノ差額ニ依テ定マルモノトス

第六百十五條 荷物ノ受取ニ依リ其受取人ハ受取ヲナスノ憑據トナル運送契約又ハ運送狀ニ依リ運賃及總テノ手数料并ニ猶豫金アルトキハ其猶豫金ヲ支拂ヒ立替ヘラレタル關稅及其他ノ立替金ヲ辨償シ及其他

自己ニ負擔スル義務ヲ履行スルノ義務アルモノトス  
船舶賃貸人ハ荷物受取人ヨリ運賃ヲ支拂ヒ及其他ノ義務ヲ履行スルトキ荷物ヲ引渡スヘキモノトス

第六百十六條 船舶賃貸人ハ海難大損失ノ爲メ荷物ノ負擔スル出金救護費及救助費及船舶書入金ヲ支拂ヒ又ハ保證シタル後ニアラサレハ荷物ヲ引渡スノ義務ナキモノトス

船舶書入ヲ船主ノ計算ヲ以テナシタルトキ前項ノ規定ヲ適用スルモノトス但尙ホ荷物ヲ引渡サ、ル前ニ荷物ヲ船舶書入負債ヨリ免カレシムル爲メ注意スル船舶賃貸人ノ義務ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナシ  
第六百十七條 船舶賃貸人ハ荷物ノ損敗シ又ハ損傷シ



タルト否トヲ問ハス其荷物ヲ運賃支拂ニ代ヘ受取ノ義務ナキモノトス

但流動物ヲ充タシタル容物ヨリ其流動ノ全部又ハ過半航海中ニ流出シタルトキ其容物ハ運賃及其他ノ要求(第六百十五條)ノ支拂ニ代ヘ船舶賃貸人ニ之ヲ放任スルコトヲ得

前項ノ權ハ船舶賃貸人漏失ニ付キ責任ヲ負擔セサルコトノ契約又ハ漏失不保ノ附約ニ依リ妨ケラルヽコトナキモノトス其權ハ容物受取人ノ保管ニ歸シタルトキ直ニ消滅スルモノトス

運送賃ヲ總額ヲ以テ約定シタル場合ニシテ單ニ二三ノ容物ヨリ流動物ノ全部又ハ過半流出シタルトキ其容物ハ運賃ノ一部及其他船舶賃貸人ノ要求ニ代ヘ之ヲ放任スルコトヲ得

第六百十八條 或ル災難ニ依リ喪失シタル荷物ニ付テハ一モ運賃ヲ支拂ヒ及前拂金アルトキハ其前拂ヲ辨償スルノ義務ナキモノトス但反對ヲ約定シタルトキハ此限ニアラス

此定メハ船舶ノ全部又ハ一部又ハ一定ノ場所ヲ賃貸シタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス此場合ニ於テハ運賃ヲ總額ヲ以テ約定シタルトキハ荷物ノ喪失部分ノ割合ニ應シ運賃ヲ引去ルコトヲ得

第六百十九條 引渡ヲナサ、ルモ其性質ニ依リ(第六百七條)喪失ヲ生シタル荷物并ニ途中ニテ斃レタル禽獸



ニ付テハ運賃ヲ支拂フヘキモノトス海難大損失ノ爲  
メ投棄シタル荷物ニ付キ運賃ヲ辨償スヘキ額ハ海難  
大損失ノ規定ニ依テ之ヲ定ルモノトス

第六百二十條 運賃額ニ付キ契約ナクシテ運送ノ爲メ  
引受ケタル荷物ニ付テハ引渡地ニ於テ其際慣例上ノ  
運賃ヲ支拂フヘキモノトス

船舶賃借人ト約定シタル數量ヲ超ヘテ運送ノ爲メ引  
受ケタル荷物ニ付テハ約定シタル運賃ノ割合ニ應シ  
テ其運賃ヲ支拂フヘキモノトス

第六百二十一條 運賃ヲ荷物ノ度量衡又ハ數量ニ從テ  
約定シタルトキ疑シキ場合ニ於テハ引渡シタル荷物  
ノ度量衡又ハ數量ヲ以テ運賃額ノ標準トナスヘシ受

取リタル荷物ノ度量衡又ハ數量ヲ用ユヘカラスト認  
ムヘキモノトス

第六百二十二條 運賃ノ外衣服料及賞金等ハ之ヲ要求  
スルコトヲ得ス但之ヲ約定シタルトキハ此限ニアラ  
ス

水先案内料、入港料、燈臺料、引船料、檢疫料、解氷料等ノ如  
キ通常及非常ノ費用ハ船舶賃貸人ニ於テ立替金ヲ生  
セシメタル處分ヲ運送契約ニ依リナスノ義務ナカリ  
シトキト雖反對ノ約定ナキトキハ其賃貸人一人ノ責  
ニ歸スルモノトス

海難大損失ノ場合并ニ積荷ノ維持、救護及救助ノ爲メ  
費用ヲ支出シタル場合ハ本條ノ爲メ變更セサルモノ



トス

第六百二十三條 運賃ヲ期限ヲ以テ約定シタルトキ其  
 期限ハ他ノ約定ナキ場合ニ於テハ船長積荷ヲ受取ル  
 爲メ準備シタルコト又ハ底積ヲ以テナス航海ニ方リ  
 テハ航海ヲ始ル爲メ準備シタルコトヲ通知シタル翌  
 日ヲ以テ經過ヲ始ルモノトス但底積ヲ以テナス航海  
 ニアリテハ未タ此通知ヲ航海ヲ始ル前日ニナサ、ル  
 トキニ限り航海ヲ始ル日ヲ以テ經過ヲ始ルモノトス  
 猶豫金又ハ猶豫期限ヲ約定シタルトキ總テノ場合ニ  
 於テ時極運賃ハ航海ヲ始ル日ヲ以テ初メテ經過ヲ始  
 ルモノトス  
 時極運賃ハ荷卸ヲ終リタル日ヲ以テ終ルモノトス

航海ヲ船舶賃貸人ノ過失ナクシテ淹滞シ又ハ中止ス  
 ルトキ其中間日時ニ付テハ時極運賃ヲ支拂フヘキモ  
 ノトス但第六百三十九條及第六百四十條ノ規定ハ之  
 カ爲メ變更テ受ルコトナシ

第六百二十四條 船舶賃貸人ハ第六百十五條ニ記載シ  
 タル要求ニ付キ荷物ニ對シ質主權ヲ有スルモノトス  
 其質主權ハ荷物ヲ留置シ又ハ藏寄シタル間存立スル  
 モノトス又引渡ヲ終リタル後三十日內ニ質主權ヲ裁  
 判所ニ申立ルトキニ限り其引渡後ト雖尙ホ繼續スル  
 モノトス但其質主權ハ裁判所ニ申立ナナスノ前荷物  
 受取人ノ爲メニ現有スルニアラサル他人ノ保管ニ歸  
 シタルトキ直ニ消滅スルモノトス



第六百二十五條 船舶賃貸人ノ要求ニ付キ争ノ生スル  
 場合ニ於テ船舶賃貸人ハ其争トナリタル額ヲ裁判所  
 又ハ其他ノ藏寄ヲ受ルノ權アル官署又ハ設置場ニ藏  
 寄シタルトキ直ニ荷物ヲ引渡スノ義務アルモノトス  
 其荷物ヲ引渡シタル後船舶賃貸人ハ相當ノ補償ヲナ  
 シテ藏寄シタル額ヲ引出スノ義務アルモノトス

第六百二十六條 船舶賃貸人ノ質主權ノ存立スル間裁  
 判所ハ其求メニ依リ荷物ノ全部又ハ相當部分ヲ船舶  
 賃借人ヘノ辨償ノ爲メ公賣スヘキコトヲ命スルヲ得  
 此權ハ所有者ノ其他ノ債主及倒産額ニ對シテモ亦船  
 舶賃貸人之ヲ有スルモノトス  
 裁判所ハ關係者其他ニ現在スルトキハ公賣ヲナス前

申立ニ付キ關係者ヲ尋問スヘキモノトス

第六百二十七條 船舶賃貸人ハ荷物ヲ引渡シタルトキ  
 其荷物受取人ニ對シ自己ニ屬スル要求第六百十五條  
 ニ付キ之ヲ船舶賃借人ニ支拂ハシムルコトヲ得ス但  
 船舶賃借人船舶賃貸人ニ損害ヲ加テ自己ニ利益ヲ得  
 タルヘキトキニ限り償還要求ヲ許スモノトス

第六百二十八條 船舶賃貸人荷物ヲ引渡サスシテ第六  
 百二十六條ノ第一項ニ掲ケタル權利ヲ使用シタルモ  
 荷物ノ賣却ヲ以テ完全ナル辨償ヲ得サリシトキ其賃  
 貸人ハ船舶賃借人ニ支拂ハシムルコトヲ得但船舶賃  
 貸人船舶賃借人ト取結ヒタル運送契約ニ依リ生スル  
 要求ニ付キ辨償ヲ受ケサルトキニ限ル



第六百二十九條 荷物受取人荷物ヲ受取ラサルトキ船  
 舶賃借人ハ運賃及其他ノ要求ニ付キ運送契約ニ依リ  
 船舶賃貸人ニ辨償ヲナスノ義務アルモノトス  
 船舶賃借人荷物ヲ受取ノ場合ニ於テハ第五百九十三  
 條ヨリ第六百二十六條マテノ規定ヲ適用シ船舶賃借  
 人ハ此諸條ニ掲ケタル荷物受取人ニ代ハルモノトス  
 特ニ此場合ニ於テハ船舶賃貸人ハ自己ノ要求ニ付キ  
 第六百二十四條第六百二十五條第六百二十六條ニ從  
 ヒ荷物ニ付テノ留置權及質主權并ニ第六百十六條ニ  
 掲ケタル權利ヲ有スルモノトス  
 第六百三十條 運送契約ハ航海ヲ始ル前事變ニ依リ左  
 ノ場合アルトキハ一方ヨリ他ノ一方ニ損害賠償ノ義

務ヲ負擔セシムルコトナクシテ其効力ヲ失フモノト  
 ス

第一 船舶喪失スルトキ特ニ

船舶難破スルトキ

船舶修復不能又ハ修復無益ノ言渡サレ(第四  
 百四十四條)及其修復無益ノ場合ニ於テハ運  
 延ナク公賣スルトキ

船舶掠奪セララルトキ

船舶押取セラレ又ハ留置セラレ及分取物ト  
 シテ言渡サルトキ

第二 運送契約ニ於テ種類ニ從テノミナラス各個  
 ニ記載シタル荷物ヲ喪失スルトキ



第三 運送契約ニ於テ各個ニ記載セサルモ荷物ヲ

己ニ船舶ニ持込ミ又ハ船舶ニ積込ム爲メ荷積場

ニ於テ船長ノ受取りタル後喪失スルトキ

但第三ニ記載シタル場合ニ於テ荷物ノ喪失尙ホ滞留  
期限(第五百八十條)内ニ生シタルトキ契約ハ船舶賃借  
人遅延ナク喪失シタル荷物ニ代ヘ他ノ荷物(第五百六  
十三條)ヲ引渡スコトヲ用意シタリト陳述シ及尙ホ滞  
留期限内ニ其引渡ヲ始ルトキニ限り其効力ヲ失ハサ  
ルモノトス船舶賃借人ハ成ルヘク短期限内ニ他ノ荷  
物ノ引渡ヲ終リ此引渡ノ爲メ多額ノ費用ヲ生スルト  
キハ之ヲ擔當シ及引渡ノ爲メ滞留期限ヲ超ルトキニ  
限り之カ爲メ船舶賃借人ニ生スル損害ヲ賠償スヘキ

モノトス

第六百三十一條 各方ハ左ノ場合ニ於テハ損害賠償ノ  
義務ヲ負擔スルコトナクシテ契約ヲ解クノ權アルモ  
ノトス

第一 航海ヲ始ル前

船舶留置セラレ又ハ國君又ハ他國ノ役務ノ  
爲メ差押ヘラレタルトキ  
到達地トノ通商ヲ禁止スルトキ  
荷物引渡港又ハ到達港鎖サルトキ  
運送契約ニ從ヒ船積ミスヘキ荷物ヲ荷物引  
渡港ヨリ輸出シ又ハ其荷物ヲ到達港ニ輸入  
スルコトヲ禁止スルトキ



其他政府ノ處分ニ依リ船舶ノ出港又ハ航海  
又ハ運送契約ニ依リ引渡スヘキ荷物ノ運送  
ヲ妨ルトキ

但前ニ掲ル總テノ場合ニ於テ政府ノ處分ハ  
其生シタル妨碍一時ニアラスト豫期スヘキ  
トキニ限り解約ノ權ヲ與ルモノトス

第二 航海ヲ始ル前戰端ヲ開キ之方爲メ船舶又ハ  
運送契約ニ從ヒ船積ミスヘキ荷物又ハ船舶  
及荷物自由ノモノト看做サル、ヲ得ス及押  
取セラル、ノ危険ニ遭フノ恐レアルトキ

第五百六十三條ニ於テ船舶賃借人ニ與ヘタル權利ノ  
執行ハ本條ノ規定ノ場合ニ於テ妨ケラル、コトナキ

モノトス

第六百三十二條 航海ヲ始ルノ後船舶事變ニ依リ喪失  
スルトキ(第六百三十條第一)ハ運送契約ハ終ハルモノ  
トス但船舶賃借人ハ荷物救護セラレ又ハ救助セラル  
、トキニ限り運賃ヲ既ニ經過シタル航路ト全航海ト  
ノ割合ニ應シテ支拂フヘキモノトス(里程運賃)

里程運賃ハ救助セラレタル荷物ノ價額ニ達スル部分  
ニ限り之ヲ支拂フヘキモノトス

第六百三十三條 里程運賃ノ計算ニ方リテハ既ニ經過  
シタル距離ト向後經過スヘキ距離トノ割合ノミナラ  
ス又概算上終ハリタル航海ノ部分ト附帶スル費用及  
時間及危険及勤勞ノ支出ト終ハラサル航海ノ部分ノ



費用及時間及危険及勤勞トノ關係ヲ準率トスルモノトス

雙方ニ於テ里程運賃ノ額ニ付キ協議整ハサルトキ之ニ付キ裁判官ハ衡平ノ見込ヲ以テ裁決スルモノトス  
 第六百三十四條 運送契約ノ解除ハ關係者ノ不在ノ場合ニ於テハ船舶ノ喪失シタル後ト雖積荷ノ保護ニ注意スヘキ船長ノ義務ニ一モ變更ヲ生セサルモノトス  
 (第五百四條ヨリ第五百六條マテ)此時船長ハ特ニ已ムヲ得サルノ場合ニ於テ豫メ照會ヲナサ、ルモ狀況ニ應シ積荷ヲ關係者ノ計算ニテ他ノ船舶ヲ以テ到達港ニ送致セシメ又ハ其積荷ヲ藏入シ又ハ賣却シ及運送又ハ藏入ノ場合ニ於テハ之ニ付キ并ニ積荷ノ維持ニ

付キ必要ナル金錢ヲ得ル爲メ積荷ノ一部ヲ賣却シ又ハ運送ノ場合ニ於テハ積荷ノ全部又ハ一部ヲ書入スルノ權利及義務ヲ有スルモノトス  
 但船長ハ里程運賃及其他船舶賃貸人ノ要求(第六百十五條)及積荷ノ負擔スル海難大損失ノ出金、救護費及救助費及船舶書入金ヲ支拂ヒ又ハ保證シタル後ニアラサレハ積荷ヲ引渡シ又ハ運送ノ爲メ他ノ船舶ニ交付スルノ義務ナキモノトス  
 本條第一項ニ從ヒ船長ノ負擔スル義務ノ履行ニ付テモ亦船主ハ船舶救助セラレタル部分アルトキハ其部分及運賃ヲ以テ其責任ヲ負擔スルモノトス  
 第六百三十五條 航海ヲ始メタル後事變ニ依リ荷物ヲ



喪失スルトキ運送契約ハ一方ニ於テ他方ニ損害賠償ノ義務ヲ負擔セシムルコトナクシテ消滅スルモノトス  
 特ニ法律ニ於テ反對ノ定メ(第六百十九條)ナキトキニ限り運賃ノ全額又ハ一部ヲ拂フコトヲ要セス  
 第六百三十六條 航海ヲ始メタル後第六百三十一條ニ掲ケタル事變ノ一生スルトキ各方ハ損害賠償ノ義務ヲ負擔スルコトナクシテ契約ヲ解クノ權アルモノトス  
 但第六百三十一條第一ニ記載シタル事變ノ一生シタルトキハ解約ヲナスノ前妨碍ヲ除ク爲メ船舶歐洲内ノ港ニ碇泊スルト又ハ歐洲外ノ港ニ碇泊スルトニ應シ三月間又ハ五月間待ツヘキモノトス

其期限ハ船長港内ニ滞在中ニ其妨碍ヲ聞知スルトキハ其聞知シタル日ヨリ起算シ其他ノ場合ニアリテハ船長妨碍ヲ知了シタル後船舶ト共ニ初テ港ニ達スル日ヨリ起算スルモノトス  
 船舶ノ荷卸ハ他ニ契約ナキ場合ニ於テハ解約ヲ陳述スルトキ碇泊スル港ニ於テ之ヲナスモノトス  
 航海ノ經過シタル部分ニ付テハ船舶賃借人ハ里程運賃(第六百三十二條第六百三十三條)ヲ支拂フノ義務アルモノトス  
 船舶妨碍ノ爲メ出發港又ハ他ノ港ニ歸着シタルトキ里程運賃ノ計算ニ方リテハ到達港ニ最モ近クシテ船舶ノ達シタル所ヲ以テ經過シタル距離ヲ確定スルノ



標準トナスヘキモノトス  
船長ハ本條ノ場合ニ於テモ亦運送契約ヲ解除スルノ  
前後ニ於テ第五百四條ヨリ第五百六條マテ及第六百  
三十四條ニ從ヒ荷物ノ保護ニ注意スヘキノ義務アル  
モノトス

第六百三十七條 船舶積荷ヲ受取リタル後航海ヲ始ル  
前荷物引渡港ニ於テ又ハ航海ヲ始メタル後中間港又  
ハ避難港ニ於テ第六百三十一條ニ掲ケタル事變ノ一  
ノ生シタル爲メ滞在スヘキトキ後日契約ヲ解除スル  
ト又ハ全ク履行スルトニ拘ハラズ其滞在費用ハ海難  
大損失ノ要件ナキトキト雖海難大損失ノ原則ニ從ヒ  
船舶運賃及積荷ニ之ヲ分配スルモノトス滞在費用ニ

ハ第七百八條第四ノ第二項ニ掲ケタル總テノ費用ヲ  
算入スルモノトス但入港及出港ノ費用ハ妨碍ノ爲メ  
避難港ニ入港シタルトキニ限り之ヲ算入スルモノトス  
第六百三十八條 單ニ積荷ノ一部航海ヲ始ル前事變ニ  
罹ル場合ニシテ其事變積荷ノ全部ニ及ヒタルニ於テ  
ハ第六百三十條及第六百三十一條ニ從ヒ契約ヲ解除  
シタルヘキモノナルトキ又ハ雙方解約スルノ權ヲ有  
シタルヘキモノナルトキ船舶賃借人ハ他ノ積荷ヲ運  
送スルニ依リ船舶賃貸人ノ位地ヲ困難ナラシメサル  
トキ(第五百六十三條)ニ限り契約上ノ荷物ニ代ヘ他ノ  
荷物ヲ引渡スノ權又ハ約定シタル運賃ノ半額及其他  
船舶賃貸人ノ要求ヲ支拂第五百八十一條及第五百八



十二條)ノ義務ヲ負擔シテ契約ヲ解除スルノ權ノミ  
 ナ有スルモノトス但船舶賃借人ハ此權利ヲ執行スル  
 ニ方リ其他ノ場合ニ於テ守ルヘキ期限ニ拘束セラ  
 ルコトナシト雖此兩權ノ孰レヲ使用セント欲スルヤ  
 ナ遲延ナク陳述シ及他ノ荷物ノ引渡ヲナストキハ其  
 引渡ヲ最短期限内ニナシ又其引渡ノ爲メ多額ノ費用  
 ナ生スルトキハ之ヲ負擔シ及其引渡ニ依リ待留期限  
 ナ超過スルトキニ限り之ニ依テ船舶賃借人ニ生スル  
 費用ヲ辨償スヘキモノトス  
 船舶賃借人ハ兩權利ヲ全ク使用セザルトキハ積荷ノ  
 事變ニ罹リタル部分ニ付テモ亦運賃全額ヲ支拂フヘ  
 キモノトス又船舶賃借人ハ何レノ場合ニ於テモ戰爭、

輸入禁令又ハ其他政府ノ處分ニ依リ不自由物トナリ  
 タル積荷ノ一部ヲ船舶ヨリ持出スノ義務アルモノト  
 ス

事變航海ヲ始メタル後生スルトキ船舶賃借人ハ其事  
 變ニ罹リタル積荷ノ部分ニ付テハ船長到達港ヨリ他  
 ノ港ニ於テ其部分ヲ荷卸セサルヘカラサルニ至リト  
 認メ其後滞在シ又ハ滞在セスシテ航海ヲ繼續シタル  
 トキト雖運賃ノ全額ヲ支拂フヘキモノトス

第六百十八條及第六百十九條ノ規定ハ本條ノ爲メ變  
 更ヲ受ルコトナキモノトス

第六百三十九條 第六百三十一條ヨリ第六百三十八條  
 マテノ場合ヲ除クノ外航海ヲ始ルノ前後ニ於テ天災



又ハ其他ノ事變ニ依リ生スル滞在ハ之カ爲メ認知スルヲ得ヘキ契約ノ旨趣ヲ無効ナラシムルニアラサレハ雙方ノ權利及義務ニ關係ヲ有セサルモノトス但船舶賃借人ハ事變ニ依リ生シタル各滞在中長キ時間ヲ要スルト見込ムトキハ其滞在中遅延ナク荷積ヲナスコトニ付キ保證ヲナシテ自己ノ危険及費用ヲ以テ既ニ船舶ニ積込ミタル荷物ヲ卸スノ權アルモノトス船舶賃借人荷積ヲナサ、ルトキハ全運賃額ヲ支拂フヘキモノトス船舶賃借人ハ如何ナル場合ニ於テモ自己ノナシタル荷卸ニ依リ生スル損害ヲ賠償スヘキモノトス政府ノ處分ニ依リ滞在中生スルトキ其時間ニ付テハ運賃ヲ支拂フノ義務ナキモノトス但其運賃時極ナリ

シトキ第六百二十三條ニ限ル

第六百四十條 船舶航海中ニ修復スヘキトキ船舶賃借人ハ船舶ノ碇泊スル地ニ於テ運賃ノ全額及其他船舶賃借人ノ要求第六百十五條ヲ支拂ヒ及第六百十六條ニ掲ケタル要求ヲ支拂ヒ又ハ保證シテ積荷ノ全部ヲ取戻シ又ハ修復ヲ待ツノ權アルモノトス其修復ヲ待ツ場合ニ於テハ修復ノ時間ニ付キ運賃ヲ支拂フノ義務ナキモノトス但其運賃時極ナリシトキニ限ル

第六百四十一條 第六百三十條ヨリ第六百三十六條マテニ從ヒ運送契約ヲ解除スルトキ船舶ヨリ荷卸スルノ費用ハ船舶賃借人之ヲ擔當シ其他ノ荷卸費用ハ船舶賃借人之ヲ擔當スルモノトス但積荷ノミ事變ニ罹



リタルトキ荷卸費用ノ全額ハ船舶賃借人ノ責ニ歸スルモノトス第六百三十八條ノ場合ニ於テ積荷ノ一部ヲ荷卸スルトキ亦同一ナリトス此場合ニ於テ荷卸ノ爲メ港ニ立寄ルヘキトキ船舶賃借人ハ入港費ヲモ亦擔當スヘキモノトス

第六百四十二條 第六百三十條ヨリ第六百四十一條マテハ船舶積荷ヲ受取ル爲メ底積ミシテ荷物引渡港ヘ向航スヘキトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス但航海ハ此場合ニ於テハ荷物引渡港ヨリ之ヲ始メタルトキ初テ始メタルモノト看做ス契約ハ船舶荷物引渡港ニ到着シタル後ト雖其港ヨリ航海ヲ始ルノ前ニ於テ之ヲ解除スルトキ船舶賃借人ハ向航ニ付キ里程運賃ノ

原則第六百三十三條ニ從ヒ定ムヘキ損害賠償ヲ受ルモノトス

其他復航海ノ場合ニ於テ前項ノ規定ハ契約ノ性質及旨趣ニ違ハサル部分ニ限り之ヲ適用スルコトヲ得

第六百四十三條 契約船舶ノ全部ニ關セスシテ單ニ其一部又ハ一定ノ場所又ハ各個荷物ニ關スルトキ左ノ場合ヲ除キ第六百三十條ヨリ第六百四十二條マテヲ適用スルモノトス

第一 第六百三十一條及第六百三十六條ノ場合ニ於テハ各方ハ妨碍ノ生シタル後直ニ及妨碍ノ時間ニ拘ハラズ契約ヲ解除スルノ權アルモノトス  
第二 第六百三十八條ノ場合ニ於テハ船舶賃借人



ハ契約ヲ解除スルノ權ヲ執行スルコトヲ得ス

第三 第六百三十九條ノ場合ニ於テハ船舶賃借人

ハ他ノ賃借人ニ於テ其承諾ヲナストキニ限り一時荷卸スルノ權ヲ有スルモノトス

第四 第六百四十條ノ場合ニ於テハ船舶賃借人ハ運賃全額及其他ノ要求ヲ支拂テ荷物ヲ取戻スコトヲ得但修復中其支拂ヲナサスシテ其荷物ノ荷卸ヲナシタルトキニ限ル

第五百八十八條及第五百九十條ノ規定ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第六百四十四條 各個ノ荷物引渡ヲ終リタル後船長ハ荷物受取ノ際交付シタル假受取證ヲ返付セシメテ遲

延ナク荷物引渡人ノ求ル員數ニ應シテ運送狀ヲ之ニ交付スヘキモノトス

運送狀ノ各通ハ總テ同一ノ旨趣ニシテ同一ノ日付ヲ有シ及幾通交付シタルヤヲ明記スヘキモノトス

荷物引渡人ハ自己ノ署名ヲ備ヘタル運送狀ノ謄本ヲ船長ノ求メニ依リ之ニ交付スヘキモノトス

第六百四十五條 運送狀ニハ左ノ件々ヲ記載スヘキモノトス

第一 船長ノ氏名

第二 船舶ノ稱號及本籍

第三 荷物引渡人ノ氏名

第四 荷物受取人ノ氏名



第五 荷物引渡港

第六 荷卸港又ハ荷卸港ニ付テノ差圖ヲ受クヘキ地

第七 引渡シタル荷物其數量及記號

第八 運賃ノ定メ

第九 運送狀交付ノ地及日

第十 交付シタル運送狀ノ員數

第六百四十六條 荷物引渡人ノ求メニ依リ反對ノ契約チキトキニ限り荷物受取人ノ指名ニテ交付シ又ハ單ニ指名ニテ交付スヘキモノトス終リノ場合ニ於テ指名トハ荷物引渡人ノ指名ト解スヘキモノトス運送狀ハ亦荷物受取人タル船長ノ記名ナルコトヲ得

第六百四十七條 船長ハ荷卸港ニ於テ單ニ運送狀ノ一通ニテモ正當ナル持主ニハ荷物ヲ引渡スノ義務アルモノトス

運送狀ニ依リ荷物ヲ受取ルヘキ者又ハ運送狀指名ナルトキハ裏書ヲ以テ讓渡サレタル者ハ荷物受取ノ爲メ之ヲ正當ノ者ナリトス

第六百四十八條 正當ナル運送狀ノ持主數名申出ルトキ船長ハ其持主總員ヲ退斥シテ荷物ヲ裁判所ニ藏寄シ又ハ其他確カナル方法ヲ以テ藏寄シ及其申出テタル運送狀持主ニ處分ノ理由ヲ付シテ其旨ヲ通知スルノ義務アルモノトス  
裁判所ニ其藏寄ヲナサ、ルトキ船長ハ其處分及處分



ノ理由ニ付キ公製證書ヲ調製セシメ及之ニ依テ生スル費用ヲ運賃ニ於ケルト同一ニ荷物ニ負擔セシムルノ權アルモノトス(第六百二十六條)

第六百四十九條 指名運送狀ニ依リ荷物受取人ノ爲メ正當ナル資格ヲ有スル者ニナス其運送狀ノ交付ハ荷物ヲ現ニ引渡シタルトキ直ニ荷物ノ交付ニ依テ定マル權利ノ得有ニ付キ荷物ノ交付ニ於ケルト同一ノ法律上効力ヲ有スルモノトス

第六百五十條 指名運送狀ノ數通ヲ交付シタル場合ニアリテ其一通ノ持主ハ第一通ノ持主ニ於テ引渡ノ請求ヲナスノ前第六百四十七條ニ從ヒ他ノ一通ニ依リ船長ヨリ荷物ノ引渡ヲ得タル者ヲ害スル爲メ前條ニ

掲ケタル運送狀交付ノ法律上効力ヲ申立ルコトヲ得ス

第六百五十一條 船長未タ荷物ヲ引渡サ、リシ場合ニ於テ申出ル數名ノ運送狀持主ヨリ運送狀交付ニ依テ荷物ニ付キ申立テタル權利ニ關シ爭ヲ生スルトキ及其部分ニ限り其持主間ニ於テハ數通ノ運送狀ヲ各異ノ人ニ讓渡シタル共通讓渡人ヨリ其一人ニ荷物ヲ受取ル正當ノ資格ヲ與ヘテ最初ニ讓渡シタル者先行スルモノトス

他ノ地ニ送リタル運送狀ニアリテ其交付ノ時ハ發送ノ時ニ依テ定マルモノトス

第六百五十二條 船長ハ荷物ノ引渡ヲ證記スヘキ運送



狀一通ノ返付ヲ受ケタルトキニ限り荷物ヲ引渡スノ義務アルモノトス

第六百五十三條 運送狀ハ船舶賃貸人及荷物受取人間ノ權利上關係ニ付テノ標準トナルモノトス特ニ受取人ヘノ荷物ノ引渡ハ運送狀ノ旨趣ニ從テ之ヲナスヘキモノトス

運送狀ニ記載セサル運送契約ノ定メハ明ニ之ヲ引用スルニアラサレハ荷物受取人ニ對シ法律上効力ナキモノトス運賃ニ付キ運送契約ヲ引用スルトキ(例ヘハ運賃ハ船舶賃借契約書ニ依ルノ語ヲ以テス)ハ其契約ニハ荷卸期限、猶豫期限及猶豫金ニ付テノ定メヲ包含セサルモノト看做スヘキモノトス

船舶賃貸人及船舶賃借人間ノ權利上關係ニ付テハ運送契約ノ定メ標準トナルモノトス

第六百五十四條 船舶賃貸人ハ引渡サレタル荷物ノ運送狀ニ於ケル記載ノ正否ニ付キ荷物受取人ニ對シ責任ヲ負擔スルモノトス但其責任ハ荷物ト運送狀ニ於ケル記載ト相違スルニ依リ生スル減少價額ノ賠償ニ限ルモノトス

第六百五十五條 前條ニ掲ケタル船舶賃貸人ノ責任ハ荷物ヲ外包ノ儘又ハ密閉シタル桶ヲ以テ船長ニ交付シタルトキト雖生スルモノトス

其交付方運送狀ニ依リ判然スルトキ船舶賃貸人ハ荷物ノ記載ノ正否ニ付キ荷物受取人ニ對シ責任ヲ負擔



スルコトナキモノトス但船舶賃貸人通常船長ノ注意  
ヲナシタルモ運送狀ニ於ケル記載ノ不正ナルコトヲ  
實檢スル能ハサリシコトヲ證明セサルトキハ此限ニ  
アラス

船舶賃貸人ノ責任ハ引渡サレタル荷物ト引受ケタル  
荷物ト同一ナルコトニ付キ争ヲ生セサルモ又ハ船舶  
賃貸人其同物ナルコトヲ證明シタルモ之カ爲メ免カ  
ル、コトナキモノトス

第六百五十六條 荷物ヲ外包ノ儘又ハ密閉シタル桶ヲ  
以テ船長ニ交付シタルトキ船長ハ運送狀ニ「内容不明」  
ノ語ヲ附記スルコトヲ得運送狀ニ此附記又ハ之ト同  
旨ノ附記ヲ掲ルトキ船舶賃貸人ハ引渡サレタル内容

ト運送狀ニ掲ケタル内容ト相違スル場合ニ於テハ船  
舶賃貸人ニ於テ引渡サレタルヨリ他ノ内容ヲ受取り  
タルコトヲ證明セラル、トキニ限り責任ヲ負擔スル  
モノトス

第六百五十七條 運送狀ニ員數、度量又ハ衡ヲ記載シタ  
ル荷物ヲ船長ニ對シ計ヘス度量セス又ハ衡ヲサルト  
キ船長ハ運送狀ニ「員數度量衡不明」ノ語ヲ附記スルコ  
トヲ得運送狀ニ此附記又ハ之ト同旨ノ附記ヲ掲ルト  
キ船舶賃貸人ハ引受ケタル荷物員數、度量又ハ衡ニ關  
スル運送狀ノ記載ノ正否ニ付キ責任ヲ負擔スルコト  
ナキモノトス

第六百五十八條 運賃ヲ荷物ノ員數、度量又ハ衡ニ應シ



テ約束シ及運送狀ニ員數度量又ハ衡ヲ記載シタルト  
キ其記載ハ運送狀ニ於テ他ノ定メヲ掲ケサルトキニ  
限リ運賃計算ノ標準トナルモノトス員數度量衡不明  
ノ附記又ハ之ト同旨ノ附記ハ之ヲ他ノ定メト看做ス  
ヘカラサルモノトス

第六百五十九條 運送狀ニ「破碎不保」又ハ「漏失不保」又ハ  
「損傷不保」ノ附記又ハ之ト同旨ノ附記ヲ掲ケタルトキ  
船舶賃貸人ハ船長又ハ自己ニ責任ヲ負擔スル人ノ過  
失ヲ證明セラル、ニ至ルマテハ破碎又ハ漏失又ハ損  
傷ニ付キ責任ヲ負擔スルコトナキモノトス

第六百六十條 損傷粗惡ノ品質又ハ損傷又ハ粗惡ノ外  
包ノ判然スル荷物ヲ船長ニ交付シタルトキ船長ハ其

瑕缺ヲ運送狀ニ記載スヘキモノトス之ニ違フトキ船  
長ハ前條ニ掲ケタル附記ノ一ヲ運送狀ニ記載シタル  
トキト雖荷物受取人ニ對シ其瑕缺ニ付キ責任ヲ負擔  
スルモノトス

第六百六十一條 船長ハ指名運送狀ヲ交付シタル後ハ  
運送狀ノ總通ヲ返付セラレタルトキニ限リ荷物ノ返  
付又ハ引渡ニ關スル荷物引渡人ノ差圖ニ從フコトヲ  
許スモノトス

船長到達港ニ到着セサル間ハ運送狀持主ノ荷物引渡  
ニ付テノ要求ニ關シテモ亦前項同一ナリトス  
船長前二項ノ規定ニ背反スルトキハ運送狀ノ正當ナ  
ル持主ニ對シ義務ヲ負擔スルモノトス



運送狀指名ヲサルトキ船長ハ荷物引渡人及運送狀ニ記載シタル荷物受取人ニ於テ荷物ノ返付又ハ引渡ヲ承諾スルトキニ限り運送狀ノ一通ヲ持參セサルトキト雖荷物ノ返付又ハ引渡ヲナスヘキモノトス但運送狀ノ總通ヲ返付セサルトキ船長ハ之カ爲メ生スルノ恐レアル損害ニ付キ豫メ保證ヲ要求スルコトヲ得

第六百六十二條 第六百六十一條ノ規定ハ運送契約ヲ到達港ニ達スルノ前事變ニ依リ第六百三十條ヨリ第六百四十三條マテニ從ヒ解除スルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第六百六十三條 船長ハ自己ニ取結ヒタル運送契約及交付シタル運送狀ヨリ生スル義務ニ關シテハ第四百

七十八條第四百七十九條及第五百二條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第六百六十四條 復運送契約ノ場合ニアリテ復契約ノ履行ニ付テハ其執行船長ノ職務上ノ義務ニ屬シ及船長ニ於テ特ニ荷物ヲ受取り及運送狀ノ交付ヲ引受ケタルトキニ限り復船舶賃貸人ノ責ニ歸スルコトナクシテ船主船舶及運賃ヲ以テ責任ヲ負擔スルモノトス

(第四百五十二條)

其他復船舶賃借人船主又ハ復船舶賃貸人ニ對シ請求ヲナスコトヲ得ルヤ及其程度及其請求ヲナス場合ニ於テ復船舶賃貸人履行ニ付キ無限責任ヲ負擔スルヤ又ハ單ニ船舶及運賃ニ限りタル船主ノ責任ヲ引受ク



ヘキヤハ前項ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第六章 旅客ノ運送契約

第六百六十五條 旅客ノ氏名ヲ渡航契約ニ掲ケタルトキ其旅客ハ渡航ノ權ヲ他人ニ讓與スルノ權ナキモノトス

第六百六十六條 旅客ハ船舶ノ秩序ニ關スル船長ノ總テノ差圖ニ從フノ義務アルモノトス

第六百六十七條 航海ヲ始ルノ前又ハ始メタル後遅延ナク船舶ニ乗込マサル旅客ハ船長ニ於テ其旅客ヲ待ツコトナクシテ航海ヲ始メ又ハ繼續スルトキ渡航賃全額ヲ支拂フヘキモノトス

第六百六十八條 旅客航海ヲ始ルノ前ニ渡航契約ノ解除ヲ申込ミ又ハ死去スルトキ又ハ疾病又ハ其他其身體上ニ關シ生スル事變ニ依リ滞在セサルヘカラサルトキハ單ニ渡航賃ノ半額ヲ支拂フヘキモノトス  
航海ヲ始メタル後解約ヲ申込ミ又ハ前項ニ掲ケタル事變ノ一生スルトキハ渡航賃全額ヲ支拂フヘキモノトス

第六百六十九條 渡航契約ハ事變ニ依リ船舶ヲ喪失スルトキハ効力ヲ失フモノトス(第六百三十條第一)  
第六百七十條 旅客ハ船舶ヲ自由ナラスト看做スコトヲ得タル上押取ノ恐ソアル戰端ヲ開クトキ又ハ船舶ニ關スル政府ノ處分ニ依リ航海ヲ停止スルトキハ契



約ヲ解除スルノ權アルモノトス  
此解約ノ權ハ船舶賃貸人前項ノ一場合ニ於テ航海ヲ止ルトキ又ハ船舶ヲ主トシテ荷物ノ運送ニ供シタルトキニシテ自己ノ過失ナクシテ荷物ヲ運送スルコト能ハサル爲メ航海ヲ止ムヘキトキハ船舶賃貸人ニモ亦属スルモノトス

第六百七十一條 第六百六十九條及第六百七十條ニ依リ渡航契約ヲ解除シタル總テノ場合ニ於テ其一方ハ他方ニ損害賠償ヲナスノ義務ナキモノトス  
但航海ヲ始メタル後初テ其解除ヲナシタルトキ旅客ハ經過シタル航海ト全航海トノ割合ニ應シテ渡航賃ヲ支拂フヘキモノトス

其支拂フヘキ額ノ計算ニ方リテハ第六百三十三條ノ規定標準トナルモノトス

第六百七十二條 船舶航海中修復ヲナスヘキトキ旅客ハ其修復ヲ待タサルトキト雖渡航賃全額ヲ支拂フヘキモノトス旅客修復ヲ待ツトキ船舶賃貸人ハ航海ヲ再ヒ始ルマテ別段ノ報酬ヲ得ルコトナクシテ之ニ住所ヲ與ヘ渡航契約ニ依リ賄ニ關シ旅客ニ對シ負擔スル義務ヲモ亦續テ履行スヘキモノトス  
但船舶賃貸人旅客ニ對シ他ノ契約上權利ヲ害スルコトナクシテ同一ナル他ノ好便ニ託シテ到達港ニ運送スヘキコトヲ申入レ旅客其申入ヲ用ルコトヲ拒ムトキ旅客ハ航海ヲ再ヒ始ルマテ住所及賄ノ給與ヲ請求



スルコトヲ得ス

第六百七十三條 旅客渡航契約ニ從ヒ船舶ニ持込ムノ  
權アル旅ヒ荷物ノ運送ニ付キ旅客ハ別段ノ契約ナキ  
トキハ渡航賃ノ外別段ノ報酬ヲ支拂フノ義務ナキモ  
ノトス

第六百七十四條 第五百六十二條第五百九十四條第六  
百十八條ノ規定ハ船舶ニ持込ミタル旅ヒ荷物ニモ亦  
之ヲ適用スルモノトス  
旅ヒ荷物ヲ船長又ハ其荷物ヲ擔當スル他人ニ於テ引  
受ケタルトキ其喪失又ハ毀損ノ場合ニアリテハ第六  
百七條第六百八條第六百九條第六百十條第六百十一  
條ノ規定ヲ適用スルモノトス

旅客ノ船舶ニ持込ミタル總テノ物件ニハ其他第五百  
六十四條第六百六十五條第五百六十六條及第六百二  
十條ヲ適用スルモノトス

第六百七十五條 船舶賃貸人ハ渡航賃ニ關シ旅客ノ船  
舶ニ持込ミタル物件ニ對シ質主權ヲ有スルモノトス  
但此質主權ハ其物件ヲ留置シ又ハ藏寄シタル間ニ限  
リ存立スルモノトス

第六百七十六條 旅客死去スルトキ船長ハ其船舶ニ存  
スル荷物ニ付キ場合ノ狀況ニ應シ適切ナル方法ヲ以  
テ相續人ノ利益ヲ保護スヘキモノトス

第六百七十七條 船舶ヲ旅客運送ノ爲メ他人ニ賃貸ス  
ルトキハ船舶ノ全部ヲ以テスルト又ハ一部ヲ以テス



ルト又ハ一定數ノ旅客ヲ運送スヘキトテ間ハス船舶  
賃貸人ト他人トノ間ノ權利上關係ニ付テハ第五章ノ  
規定ヲ適用スルモノトス但事ノ性質ニ於テ其適用ヲ  
許ストキニ限ル

第六百七十八條 此編ノ以下數章ニ於テ運賃ト記載ス  
ル場合ニアリテハ反對ノ定メナキトキニ限り其運賃  
ニハ渡航賃ヲモ包含スルモノトス

第六百七十九條 移住事件ニ關スル各邦法律ハ民法上  
規定ヲ掲ル部分ト雖此章ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコ  
トナキモノトス

### 第七章 船舶書入

第六百八十條 此法ニ謂ヘル船舶書入ハ船長其資格ヲ

以テ此法ニ於テ之ニ與ヘタル權限ニ依リ保險料ヲ與  
ヘ及船舶運賃及積荷又ハ此物件ノ一個又ハ數個ヲ抵  
當トナシ取結フ貸付契約ニシテ其契約ヲ取結ヒタル  
航海船舶書入航海ヲ終ルヘキ地ニ船舶ノ到着シタル  
後其抵當書入トナリタル物件ニ付テノミ債主其請求  
ヲナスコトヲ得ルノ方法ヲ以テ取結フモノナリトス  
第六百八十一條 船舶書入ハ左ノ場合ニ限り船長之ヲ  
取結フコトヲ得

第一 船舶本籍港外ニ碇泊中ハ第四百九十七條第  
五百七條ヨリ第五百九條マテ及第五百十一條ニ  
從ヒ航海ヲナス爲メニスルトキ

第二 航海ハ積荷關係者ノミノ利益ニ於テ第五百



四條第五百十一條及第六百三十四條ニ從ヒ積荷ヲ維持シ及運送スル爲メニスルトキ

第二ノ場合ニ於テハ船長ハ積荷ノミヲ書入スルコトヲ得總テ其他ノ場合ニ於テハ船長ハ船舶又ハ運賃ノミヲ書入スルコトヲ得但積荷ハ船舶及運賃ト合スルニアラサレハ之ヲ書入スルコトヲ得ス

運賃ヲ記載スルコトヲクシテハ船舶ノ書入ニハ運賃ノ書入ヲ包含セサルモノトス但船舶及積荷ヲ書入スルトキハ運賃ハ之ヲ共ニ書入シタルモノト看做ス運賃ノ書入ハ運賃未タ海難ヲ免カレサル間ハ之ヲ許スモノトス

未タ始メサル航海部分ノ運賃モ亦之ヲ書入スルコト

ヲ得

第六百八十二條 船舶書入保險料ノ額ハ制限ナクシテ之ヲ雙方ノ協議ニ任カスモノトス其保險料ハ反對ノ契約ナキトキハ利子ヲモ包含スルモノトス

第六百八十三條 船舶書入ニ付テハ船長ヨリ船舶書入狀ヲ交付スヘキモノトス之ヲ交付セサルトキ債主ハ船長ニ於テ需求ヲ充ス爲メ單純ノ信用契約ヲ取結ヒタルヘキトキ自己ニ屬スヘキ權利ヲ有スルモノトス第六百八十四條 書入債主ハ船舶書入狀ニ左ノ件々ヲ記載スヘキコトヲ求ルヲ得

第一 船舶書入債主ノ氏名



- 第二 船舶書入負債ノ元金額
- 第三 船舶書入保険料ノ額又ハ債主ニ支拂フヘキ全額
- 第四 船舶書入トナリタル物件
- 第五 船舶及船長
- 第六 船舶書入航海
- 第七 船舶書入負債ヲ支拂フヘキ時
- 第八 支拂ヲナスヘキ地
- 第九 證書ノ本文ニ書入狀タルコトノ明文又ハ負債ヲ船舶書入負債トシテ取結ヒタル旨又ハ船舶書入タルコトヲ充分ニ表スル陳述
- 第十 船舶書入ノ契約ヲナサルヘカラサル狀況

第十一 交付ノ日及地

第十二 船長ノ署名

船長ノ署名ハ求メニ依リ公證シテ之ヲナスヘキモノトス

第六百八十五條 船舶書入債主ノ求メニ依リ船舶書入狀ハ反對ノ契約ナキトキニ限り債主ノ指名ニテ交付シ又ハ單ニ指名ニテ之ヲ交付スヘキモノトス單ニ指名ノ場合ニ於テ指名トハ船舶書入債主ノ指名ナリト解スヘキモノトス

第六百八十六條 船舶書入狀ヲ交付スル前其契約ヲ取結フコトノ必要ヲ本國ノ領事又ハ其事務ヲ擔當スヘキ領事其領事ナキトキハ交付ノ地ノ裁判所又ハ其他



ノ權限ヲ有スル官署又ハ其官署ナキトキニ限り船舶  
士官ニ於テ證書ヲ以テ證明シタルトキハ船長其範圍  
内ニ於テ契約ヲ取結フノ權ヲ有シタリト看做スモノ  
トス

但反對證ハ之ヲ舉ルコトヲ許スモノトス

第六百八十七條 船舶書入債主ハ船舶書入狀數通ノ交  
付ヲ求ルコトヲ得

數通ヲ交付シタルトキハ其各通ニ幾通交付シタルヤ  
ヲ記スヘキモノトス

船舶書入狀ハ指名ノモノナルトキハ裏書ヲ以テ之ヲ  
讓渡スコトヲ得

船長契約ヲ取結フ權ヲ一般ニ有セサルコト又ハ其場

合ノ範圍内ニ於テ其權ヲ有セザリシコトノ異議ハ裏  
書讓受人ニ對シテモ亦之ヲナスヲ許スモノトス

第六百八十八條 船舶書入負債ハ船舶書入狀ニ他ノ定  
メナキトキニ限り船舶書入航海ノ到達港ニ於テ船舶  
此港ニ到着シタル後八日目ニ之ヲ支拂フヘキモノト  
ス

其支拂日ヨリ保險料ヲ合ハセ船舶書入全額ニ付キ商  
人間ノ利子ヲ付スルモノトス

前項ノ規定ハ保險料時極ナルトキハ之ヲ適用セサル  
モノトス但時極保險料ハ船舶書入元金ヲ支拂フマテ  
之ヲ付スルモノトス

第六百八十九條 支拂期日ニ方リテハ船舶書入負債ノ



支拂ハ單ニ船舶書入狀ノ一通ニテモ正當ナル持主ニ對シ之ヲ拒ムコトヲ得ス

其支拂ハ之ニ付テノ受取證ヲ記スヘキ船舶書入狀ヲ返付スルニアラサレハ之ヲ求ルコトヲ得ス

第六百九十條 正當ナル船舶書入狀ノ持主數名申出ルトキ其數名ハ之ヲ退斥シ書入セラレタル物件ノ責ヲ免カレシムヘキトキハ金錢ヲ裁判所ニ藏寄シ又ハ其他確カナル方法ヲ以テ藏寄シ及申出テタル船舶書入狀持主ニ其處分ノ理由ヲ付シテ之ヲ通知スヘキモトトス

裁判所ニ其藏寄ヲナサ、ルトキ藏寄者ハ其處分及處分ノ理由ニ付キ公製證書ヲ調製セシメ及之ニ依テ生スル費用ヲ船舶書入負債ヨリ引去ルノ權アルモノトス

第六百九十一條 海難大損失及海難各部損失ハ船舶書入債主ノ責ニ歸セサルモノトス

但書入トナリタル物件海難大損失又ハ海難各部損失ニ依リ船舶書入債主ヘノ辨償ノ爲メ不足スル部分ニ限り其債主ハ之ニ依テ生スル損害ヲ擔當スヘキモノトス

第六百九十二條 書入シタル總テノ物件ハ船舶書入債主ニ對シ各自獨立シテ責任ヲ負擔スルモノトス  
支拂滿期前ト雖債主ハ船舶書入航海ノ到達港ニ船舶ノ到着シタル後書入シタル總テノ物件ノ差押ヲ求ル



コトヲ得

第六百九十三條 船長ハ書入シタル物件ノ保管及維持ニ付キ注意スヘキモノトス船長ハ船舶書入債主ノ危険ヲシテ契約ヲ取結フノ際豫期スヘキヨリ大ナラシメ又ハ異ナラシムル行爲ヲ已ムヲ得サルノ理由ナクシテナスコトヲ許サ、ルモノトス

船長ハ此規定ニ背反スルトキハ船舶書入債主ニ對シテ之ニ依テ生スル損害ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス(第四百七十九條)

第六百九十四條 船長船舶書入航海ヲ恣ニ變更シタルトキ又ハ其航海ニ應スル航路ニ恣ニ違戾スルトキ又ハ其航海ノ終リタル後書入シタル物件ヲ債主ノ利益

ノ爲メノ必要ナクシテ更ニ海難ニ任カシタルトキハ債主ニ於テ書入セラレタル物件ヨリ其辨償ヲ受取ラサル部分ニ限り之ニ對シ書入負債ニ付キ無限責任ヲ負擔スルモノトス但船長ニ於テ其辨償不足額航海ノ變更又ハ航路ノ違戾又ハ新タナル海難ニ依テ生セザリシコトヲ證明スルトキハ此限ニアラス

第六百九十五條 船長ハ書入シタル積荷ノ全部又ハ一部ヲ債主ヘノ辨償又ハ保證ヲナスノ前引渡スヲ許サス之ニ違フトキハ債主ニ於テ引渡ノ際引渡サレタル荷物ヨリ辨償ヲ受ルコトヲ得タルヘキ部分ニ限り之ニ對シ書入負債ニ付キ無限責任ヲ負擔スルモノトス

反對證ノ舉ルマテハ債主ニ於テ其完全ナル辨償ヲ求



ルコトヲ得タリト認ルモノトス

第六百九十六條 船主ハ第六百九十三條第六百九十四條第六百九十五條ノ場合ニ於テ船長ノ處分ヲ命シタルトキハ第四百七十九條第二項及第三項ノ規定ヲ適用スルモノトス

第六百九十七條 支拂期日ニ船舶書入負債ヲ支拂ハサルトキ債主ハ書入セラレタル船舶及積荷ノ公賣并ニ書入セラレタル運賃ノ交付ヲ管轄裁判所ニ申立ルコトヲ得

訴訟ハ船舶及運賃ニ關シテハ船長又ハ船主ニ對シ積荷ニ關シテハ其引渡前ニハ船長ニ對シ其引渡後ニハ荷物受取人ニ對シ之ヲナスヘキモノトス但其積荷受

取人ニ存シ又ハ之カ爲メ現有スル他人ニ存スルトキニ限ル

書入セラレタル積荷ノ現有ヲ良心ヲ以テナシタル他ノ得有者ヲ害スル爲メ債主ハ自己ノ權利ヲ使用スルコトヲ得ス

第六百九十八條 書入セラレタル荷物ヲ受取ルノ際其荷物船舶書入負債ノ責ヲ負擔スルコトヲ知了シタル荷物受取人ハ債主ニ對シ引渡ノ際荷物ノ有セシ價額ニ至ルマテ負債ニ付キ無限責任ヲ負擔スルモノトス但引渡ヲナサ、リシ場合ニ於テ債主荷物ヨリ辨償ヲ受ルコトヲ得タルヘキ部分ニ限ル

第六百九十九條 船舶書入航海ヲ始ルノ前航海ヲ止ル



トキ債主ハ船舶書入契約ヲ取結ヒタル地ニ於テ船舶書入航海ノ即時支拂ヲ求ルノ權アルモノトス但債主ハ保險料ノ割引ヲ承諾スヘキモノトス其割引ニ付テハ特ニ受ケタル危險ト引受ケタル危險トノ割合標準トナルモノトス

船舶書入航海其到達港ヨリ他ノ港ニ於テ終ルトキ船舶書入負債ハ保險料ヲ引去ルコトナクシテ此他港ニ於テ契約上支拂期限ノ經過後及其期限ナキトキハ八日第六百八十八條ノ支拂期限ノ經過後之ヲ支拂フヘキモノトス其支拂期限ハ航海停止ノ確定シタル日ヨリ之ヲ起算スルモノトス

本條ニ於テ他ノ定メナキトキニ限り第六百八十九條

ヨリ第六百九十八條マテハ前諸項ノ場合ニ於テモ亦適用スルモノトス

第七百條 本章ノ規定ノ適用ハ船長同時ニ船舶又ハ積荷又ハ船舶及積荷ノ共同所有者又ハ獨立所有者タルモ又ハ船長關係者ノ特別差圖ニ依リ船舶書入契約ヲ取結ヒタルモ之カ爲メ妨ケラル、コトナキモノトス

第七百一條 第六百八十一條ニ掲ケタル場合ニ於テ船長其資格ヲ以テ取結ヒタルモノニアラサル類似船舶書入契約ニ付テノ規定ハ之ヲ各邦法律ニ任カス

第八章 海難損失

第一節 海難大共通損失及海難各部損失

第七百二條 共通ノ危險ヨリ船舶及積荷ヲ救フノ目的



ヲ以テ船長ニ於テ又ハ船長ノ命令ニ依リ故意ヲ以テ船舶又ハ積荷又ハ船舶及積荷ニ加フル總テノ損害并ニ此處分ニ依リ其他生シタル損害并ニ同一ノ目的ノ爲メ支出スル費用ハ之ヲ海難大損失ナリトス海難大損失ハ船舶運賃及積荷ニ於テ共同シテ之ヲ負擔スルモノトス

第七百三條 海難大損失ニ属セスシテ災難ニ依リ生シタル總テノ損害及費用ハ之ヲ海難各部損失ナリトス但其費用ハ第六百二十二條ニ属セサルモノニ限ル海難各部損失ハ船舶及積荷ノ所有者ニ於テ各自獨立シテ之ヲ負擔スルモノトス

第七百四條 海難大損失ノ規定ノ適用ハ危險ヲ他人又

ハ關係者ノ過失ニ依リ生シタルモ之カ爲メ妨ゲラル、コトナキモノトス其過失ノ責ヲ負擔スル關係者ハ自己ニ生シタル損害ニ付キ補償ヲ求ルコトヲ得サルノミナラス出金義務者損害ヲ海難大損失トシテ分配セラル、カ爲メ受ル損失ニ付キ之ニ對シテモ亦責任ヲ負擔スルモノトス危險乗組員ノ過失ニ出テタルトキ船主モ亦第四百五十一條第四百五十二條ニ從ヒ其過失ノ結果ヲ擔當スルモノトス

第七百五條 海難損失ノ分配ハ船舶并ニ積荷特ニ其各物件ノ全部又ハ一部現ニ救助セラントキニ限り之ヲナスモノトス



第七百六條 救助セラレタル物件ニ付キ出金スルノ義務ハ其物件其後海難各部損失ヲ被ルモ其物件ノ全部ヲ喪失スルトキニアラサレハ全ク消滅セザルモノトス

第七百七條 海難大損失ニ属スル損傷ノ補償ニ付テノ請求權ハ其損傷シタル物件ノ更ニ損傷スルト又ハ全ク喪失スルトヲ問ハス其後被ル海難各部損失ニ依テ消滅スルモノトス但其後ノ災難其前ノ災難ト全ク關係セサルノミナラス其前ノ損害既ニ生セザリシニ於テハ其後ノ災難ニ依リ其損害ヲモ亦生セシメタルヘキコトヲ證明スル部分ニ限ル  
但其後ノ災難ノ生スル前損傷シタル物件ヲ修復スル

爲メ既ニ費用ヲ支出シタルトキハ其支出ニ付キ補償ヲ請求スルノ權アルモノトス

第七百八條 海難大損失ハ左ノ場合ニ於テ生スルモノトス但損失中同時ニ本條ニ別段ノ定メナキトキニ限リ第七百二條第七百四條及第七百五條ノ要件ナキトキハ此限ニアラス

第一 商品船舶ノ部分又ハ船舶器具ノ投棄セラルルトキ檣綱又ハ帆ヲ截斷セラル、トキ錨、錨綱又ハ錨鎖ヲ曳行カレ又ハ截斷セラル、トキ  
其損害并ニ其處分ニ依リ船舶又ハ積荷ニ其他生シタル損害ハ海難大損失ニ属スルモノトス

第二 船舶ヲ輕易ニナス爲メ積荷ノ全部又ハ一部



ヲ船積ニ積替ヘタルトキ  
船積賃、船積ニ積替ヘノ際又ハ船舶ニ積戻ノ際積  
荷又ハ船舶ニ加ヘタル損害并ニ船積ニ於テ積荷  
ノ被リタル損害ハ海難大損失ニ属スルモノトス  
航海ノ通常經過中船舶ヲ輕易ニナスヘキトキハ  
海難大損失ハ生セサルモノトス

第三 船舶ヲ故意ヲ以テ海濱ニ乗上ルトキ但之ヲ  
以テ沈没又掠奪ヲ防クヲ目的トセシトキニ限ル  
海濱乗上ケ及乗下シニ依テ生シタル損害并ニ乗  
下シノ費用ハ海難大損失ニ属スルモノトス  
沈没ヲ防ク爲メ海濱ニ乗上ケタル船舶ヲ乗下サ  
ス又ハ乗下シ後修復不能(第四百四十四條)ト認ル

トキ海難損失ノ分配ハ之ヲナサ、ルモノトス  
船舶及積荷ヲ救助スルヲ目的トスルコトナクシ  
テ船舶ヲ海濱ニ乗上ケタルトキハ其乗上ケニ依  
テ生シタル損害ハ海難大損失ニ属セサルモ其乗  
下シノ爲メ支出シタル費用及之ヲ爲メ船舶及積  
荷ニ故意ヲ以テ加ヘタル損害ハ海難大損失ニ属  
スルモノトス

第四 航海ヲ繼續フル場合ニ於テ船舶及積荷ノ權  
限トスル共通ノ危険ヲ避ル爲メ船舶避難港ニ立  
寄ルトキ特ニ航海中船舶ノ被リタル破損ヲ修復  
セサルヘカラサル爲メ立寄りタルトキハ海難大  
損失ニ属スルモノトス



此場合ニ於テ海難大損失ニ属スルモノハ入港及出港ノ費用、船舶ニ關スル碇泊費用、碇泊中船舶乗組員ニ属スル給料及賄并ニ船舶乗組員船舶ニ止ルコト能ハサルトキ及其間乗組員ヲ上陸セシムルニ付テノ費用、其他避難港ニ立寄ルニ至ラシメタル理由ニ依リ積荷ヲ荷卸スヘキ場合ニ於テ荷卸及荷積ノ費用及積荷ヲ再ヒ船舶ニ積込ムコトヲ得ル時ニ至ルマテ積荷ヲ陸ニ保管スル費用ナリトス

總テノ碇泊費用ハ避難港ニ立寄ルニ至ラシメサル理由ノ繼續スル時間ニ限り計算スルモノトス

船舶ヲ修復セサルヘカラサルノ理由アルトキハ

其他碇泊費用ハ其修復ヲ終ルコトヲ得タルヘキ時マテニ限り計算スルモノトス

船舶修復ノ費用ハ修復スル破損海難大損失ナル部分ニ限り海難大損失ニ属スルモノトス

第五 船舶ヲ敵又ハ海賊ニ對シ防禦シタルトキ其防禦ノ際船舶又ハ積荷ニ加ヘタル損傷、其防禦ノ際消費シタル彈藥及其防禦ノ際船舶乗組員傷痕ヲ被リ又ハ死去シタル場合ニ於テ其治療費及埋葬費并ニ支拂フヘキ賞與(第五百二十三條第五百二十四條第五百四十九條第五百五十一條)ハ海難大損失ナリトス

第六 敵又ハ海賊船舶ヲ留置シタル場合ニ於テ船



船及積荷ヲ買戻シタルトキ

其買戻ノ爲メ與ヘタルモノハ人質ノ給與及解除ノ爲メ生シタル費用ト共ニ之ヲ海難大損失トス

第七 航海中海難大損失ニ引當ル爲メ必要ナル金錢ヲ準備スルニ依リ損失及費用ヲ生シタルトキ又ハ關係者ニナス決算ニ依リ費用ヲ生シタルトキ

此損失及費用ハ同シク海難大損失ニ屬スルモノトス

特ニ海難大損失ニ屬スルモノハ航海中賣却シタル荷物ノ損失、必要ナル金錢ヲ船舶書入ヲ以テ得タルトキハ船舶書入保険料、之ヲナサ、ルトキハ

支出シタル金錢ノ保険料、損害ノ檢出費用及海難大損失ニ付テノ計算(海大難損失計算費用ナリトス

第七百九條 左ニ掲ルモノハ海難大損失ト看做サス海

難各部損失ト看做スモノトス

第一 航海中ト雖海難各部損失ノ爲メ必要トナリタル金錢ヲ準備スルニ依リ生スル損失及費用  
第二 船舶及積荷ヲ共ニ有効ニ取戻シタルトキト雖其取戻費用

第三 海濱乗上ケ又ハ掠奪ヲ防ク爲メ速力ヲ過度ニナシタルトキト雖其過度ナルニ依リ生シタル船舶、其附屬品及積荷ノ損傷



第七百十條 海難大損失ノ場合ニ於テハ左ニ掲ル物件ニ關スル損傷及喪失ハ之ヲ損害ノ計算ニ入レサルモノトス

第一 甲板ノ上ニ積ミタル荷物但此規定ハ沿岸通行ニアリテハ之ニ關シ甲板上積込ミテ各邦法律ヲ以テ許シタルトキニ限り之ヲ適用セサルモノトス(第五百六十七條)

第二 運送狀ヲ交付セス及證明證書又ハ荷積簿ニ載セサル荷物

第三 船長ニ相當ニ明記セサル高價物金錢及有價證券(第六百八條)

第七百十一條 船舶及其附屬品ニ生シタル損害ニシテ

海難大損失ニ屬スルモノハ修復ヲ航海中ニナストキ其修復ノ地ニ於テ其修復前ニ其他ノ場合ニアリテハ航海ヲ終ル地ニ於テ鑑定人ニ之ヲ檢出シ及評價セシムヘキモノトス其評價書ニハ必要ナル修復費用ノ豫算ヲ記載スヘキモノトス其評價書ハ航海中修復スルトキハ實費ニシテ豫算額ヲ超ヘサル部分ニ限り損害計算ノ標準トナルモノトス但其評價書ヲ記載スルコト能ハサリシトキハ必要ナル修復ニ現ニ支出シタル費用ノ額標準トナルモノトス  
修復ヲ航海中ニナサ、ルトキハ其評價特ニ損害計算ノ標準トナルモノトス  
第七百十二條 前條ニ從ヒ檢出シタル修復費用ノ全額



ハ船舶損傷ノ時未タ滿一年航海セサリシトキ其ナス  
 ヘキ補償ノ標準トナルモノトス  
 船舶ノ各部特ニ鐵板并ニ附屬品ノ各部ヲ未タ滿一年  
 使用セサリシトキ其各部ノ補償ニ付テモ亦前項同一  
 ナリトス  
 其他ノ場合ニアリテハ新舊ノ差ニ依リ全額ヨリ三分  
 一ヲ引去リ錨鎖ニアリテハ六分一ヲ引去ルモノトス  
 但錨ニアリテハ一モ引去ルコトナシ  
 其他新物ヲ以テ代ヘ又ハ代フヘキ舊物尙ホ存スルト  
 キハ其賣却金又ハ價額ヲ全額ヨリ引去ルモノトス  
 此引去ト同時ニ新舊ノ差ニ依ル引去ヲナストキハ先  
 ツ新舊ノ差ニ依ル引去ヲナシ次ニ其殘額ヨリ始メテ

他ノ引去ヲナスヘキモノトス

第七百十三條 投棄シタル荷物ニ付テノ補償ハ同種類  
 及同品質ノ荷物到達港ニ於テ船舶荷卸ヲ始ルノ際有  
 スル市價ニ依リ定マルモノトス  
 市價ナキトキ又ハ其適用ニ付キ特ニ荷物ノ性質ニ關  
 シ疑ノ生スルトキ其價ハ鑑定人ヲシテ之ヲ檢出セシ  
 ムルモノトス  
 荷物ノ喪失ニ依リ運賃關稅及費用ノ餘リタルモノハ  
 其代價ヨリ之ヲ引去ルモノトス  
 投棄シタル荷物ニハ海難大損失ニ引當ル爲メ賣却シ  
 タルモノ(第七百八條第七)モ亦屬スルモノトス  
 第七百十四條 海難大損失ニ屬スル損傷ヲ被リタル荷



物ノ補償ハ荷物損傷シタル狀況ノ儘到達港ニ於テ船舶荷卸ヲ始ルノ際有スル賣却代價ニシテ鑑定人ノ檢出スヘキモノト損傷ノ爲メ餘シタル關稅及費用トニ限り之ヲ引去リタル後前條ニ記載シタル代價トノ差ニ依テ定マルモノトス

第七百十五條 海難ノ前又ハ其際又ハ其後生シタル價額減少及喪失ニシテ海難大損失ニ屬セサルモノハ補償計算ノ際第七百十三條第七百十四條之ヲ引去ルヘキモノトス

第七百十六條 航海ヲ船舶及積荷ニ關シ到達港ニ於テ終ヘス他ノ地ニ於テ終ルトキハ此他ノ地ハ補償ヲ檢出スル爲メ到着地ニ代ハルモノトス航海ヲ船舶ノ喪

失ニ依リ終ルトキハ積荷ヲ安全ニシタル地補償檢出ノ爲メ到達地ニ代ルモノトス

第七百十七條 失ヒタル運賃ニ付テノ補償ハ投棄シタル荷物船舶ト共ニ到着地ニ達シタルヘキトキ又ハ船舶其地ニ達セサル場合ニ於テハ航海ヲ終ル地ニ達シタルヘキトキ其荷物ニ付キ支拂フタルヘキ運賃額ニ依テ定マルモノトス

第七百十八條 海難大損失トナル全損害ハ價額及金額ノ割合ニ應シ船舶積荷及運賃ニ分配スルモノトス

第七百十九條 船舶及附屬品ハ左ニ掲ルモノヲ以テ出金スルモノトス

第一 船舶及附屬品現狀ノ儘航海ノ終リニ於テ荷



卸ヲ始ルノ際有スル價額

第二 海難大損失トシテ計算スル船舶及附屬品ノ損害

海難ノ後始メテナシタル修復及準備品ノ價額ニシテ尙ホ存スルモノハ第一項ニ掲ケタル價額ヨリ之ヲ引去ルヘキモノトス

第七百二十條 積荷ハ左ニ掲ルモノヲ以テ出金スルモノトス

第一 航海ノ終リニシテ荷卸ヲ始ルノ際尙ホ存スル荷物又ハ航海ヲ船舶ノ喪失ニ依リ終ルトキ(第七百十六條)ハ保全シタル荷物但此兩場合ニ於テ其荷物海難ノ際船舶又ハ舢舨(第七百八條第一二)

存スルモノトス

第二 投棄シタル荷物(第七百十三條)

第七百二十一條 出金ヲ檢出スルニ方リテハ左ノ價額ニ依テ計算スルモノトス

第一 損傷セサル荷物ニ付テハ其荷物航海ノ終リニシテ船舶荷卸ヲ始ルノ際及其地ニ於テ有シ又ハ航海ヲ船舶ノ喪失ニ依リ終ルトキ(第七百十六條)ハ救護ノ際及其地ニ於テ有スル市價又ハ鑑定人ノ檢出スヘキ代價(第七百十三條)但運賃關稅及其他ノ雜費ヲ引去ルモノトス

第二 航海中損敗シ又ハ海難大損失ニ屬セサル損傷ヲ受ケタル荷物ニ付テハ鑑定人ノ檢出スヘキ



賣買價第七百十四條ニシテ第一ニ記載シタル時  
及地ニ於テ有スルモノ但運賃關稅及其他ノ雜費  
ヲ引去ルモノトス

第三 投棄シタル荷物ニ付テハ第七百十三條ニ從  
ヒ其荷物ニ付キ海難大損失トシテ計算スル額

第四 海難大損失ニ屬スル損傷ヲ受ケタル荷物ニ  
付テハ第二ノ規定ニ從ヒ檢出スヘキ價額ニシテ  
其荷物ノ損傷シタル現狀ニ於テ有スルモノ及第  
七百十四條ニ從ヒ其損傷ニ付キ海難大損失トシ  
テ計算スル價額ノ差

第七百二十二條 荷物ヲ投棄シタルトキ其荷物ハ其救  
護ノ場合ニ於テ所有者補償ヲ求ルトキニ限り同時ノ

海難大損失又ハ其後ノ海難大損失ニ付キ出金スヘキ  
モノトス

第七百二十三條 運賃ハ左ニ掲ル三分二ヲ以テ出金ス  
ヘキモノトス

第一 其得ヘキ總額

第二 第七百十七條ニ從ヒ海難大損失トシテ計算  
スル額

三分ノ二ニ定メタル部分ヲ二分ノ一マテニ減スルハ  
之ヲ各邦法律ニ任カス  
渡航賃ハ船舶ノ喪失スル場合ニ於テ失ヒタルヘキ額  
(第六百七十一條)ヲ以テ出金スルモノトス但實際餘シ  
タルヘキ雜費ヲ引去ルモノトス



第七百二十四條 出金義務ヲ有スル物件其後ノ海難ニ於テ生スル要求ニ付キ責ヲ負擔スルトキ其物件ハ其要求ヲ引去リタル後ノ價額ノミヲ以テ出金スルモノトス

第七百二十五條 左ニ掲ルモノハ海難大損失ニ付キ出金セサルモノトス

第一 船舶ノ軍需品及食糧ノ蓄藏

第二 船舶乗組員ノ給料及所持品

第三 旅客ノ旅ヒ荷物

此種類ノ蓄藏又ハ所持品又ハ旅ヒ荷物投棄シ又ハ海難大損失ニ屬スル損傷ヲ受ケタルトキ此等ノモノニ付テハ第七百十三條ヨリ第七百十七條マテニ從ヒ補

償ヲ與ルモノトス但高價物、金錢及有價證券ヲ以テ成ル所持品及旅ヒ荷物ニ付テハ之ヲ船長ニ相當ニ明示シタルトキニ限り(第六百八條)補償ヲ與ルモノトス補償ヲ與ル蓄藏所持品及旅ヒ荷物ハ海難大損失トシテ計算スル額又ハ價額ノ差ヲ以テ出金スルモノトス第七百十條ニ掲ケタル物件ハ救護セラレタル部分ニ限り出金義務ヲ有スルモノトス  
船舶書入金ハ出金ノ義務ナキモノトス  
第七百二十六條 海難損失ノ後及航海ヲ終リ荷卸ヲ始ルマテニ於テ出金義務ヲ有スル物件ノ全部(第七百六條)又ハ一部ヲ喪失シ又ハ其物件特ニ第七百二十四條ノ場合ニ於ケル價額減少ヲ生スルトキハ其他ノ物件



ニ於テ支拂フヘキ額ヲ割合ニ應シテ増加スルモノトス  
荷卸ヲ始メタル後初テ喪失又ハ價額減少ヲナシタル  
トキ物件ノ負擔スル額ハ此物件其額ヲ拂フ爲メ不足  
シタル部分ニ限り補償權利者之ヲ失フモノトス

第七百二十七條 補償權利者ハ船舶及運賃ニ於テ支拂  
フヘキ額ニ付キ船舶債主ノ權利ヲ有スルモノトス(第  
十章)其權利者ハ出金義務ヲ有スル荷物ニ付テモ亦各  
個荷物ニ於テ負擔スヘキ額ニ付キ其各個荷物ニ對シ  
質主權ヲ有スルモノトス但此質主權ハ荷物引渡ノ後  
良心ヲ以テ現有シタル他ノ得所有者ヲ害スル爲メ之ヲ  
申立ルコトヲ得ス

第七百二十八條 出金ヲ支拂フ爲メ負擔スル無限ノ義  
務ハ海難損失ニ依リ自ラ生スルコトナキモノトス  
但出金義務ヲ有スル荷物ノ受取人ハ荷物ヲ受取ルノ  
際其荷物ニ於テ出金ヲ支拂フヘキコトヲ知了シタル  
トキハ其出金ニ付キ引渡ノ際荷物ノ有セシ價額マテ  
無限ノ義務ヲ負擔スルモノトス但其額引渡ヲササ  
リシ場合ニ於テ荷物ヨリ辨償スルコトヲ得タルヘキ  
部分ニ限ル

第七百二十九條 損害ノ確定及分配ハ到達地ニ於テ之  
ヲナシ到達地ニ達セサルトキハ航海ヲ終ル港ニ於テ  
之ヲナスモノトス  
第七百三十條 船長ハ遲延ヲク海難損失ノ計算ヲナシ  
シムルノ義務アルモノトス此義務ニ背反スルトキ船



長ハ各關係者ニ對シ責任ヲ負擔スルモノトス  
海難損失ノ計算ヲ遅延ナクナサシメサルトキ各關係者ハ其計算ヲ申立テ及之ヲナスコトヲ得

第七百三十一條 此法ノ行ハル、地ニ於テ海難損失ノ計算ハ常任シタル者又ハ常任者ナキトキハ裁判所ヨリ特ニ任シタル者海難損失計算者之ヲナスモノトス  
各關係者ハ海難損失計算ヲナス爲メ必要ナル證書ニシテ其處分ニ屬スルモノニ限り特ニ船舶貸借契約書運送狀及商品代價書ヲ海難損失計算者ニ交付スルノ義務アルモノトス  
海難損失計算ノ手續及其計算ノ實行ニ付テノ細則ヲ發スルハ之ヲ各邦法律ニ任カス

第七百三十二條 船舶ニ於テ辨濟スヘキ額ニ付テハ第七百二十九條ニ從ヒ損傷ノ確定及分配ヲナスヘキ港ヲ船舶ノ發スルコトヲ得ル前各關係者ニ對シ保證ヲナスヘキモノトス

第七百三十三條 船長ハ海難損失出金義務ヲ負擔スル荷物其出金ヲ支拂ヒ又ハ保證スル前第六百十六條引渡スコトヲ許サス之ニ違フトキ船長ハ其荷物ノ義務ヲ變更スルコトナクシテ出金ニ付キ無限責任ヲ負擔スルモノトス

船主船長ノ處分ヲ命シタルトキハ第四百七十九條第二項及第三項ノ規定ヲ適用スルモノトス  
出金義務ヲ有スル荷物ニ對シ補償權利者ニ屬スル質



主權ハ其權利者ニ代ハリ船舶賃貸人之ヲ執行スルモ  
ノトス

第七百三十四條 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メニスルモ  
海難大損失ニ屬セサル支出ノ爲メ積荷ヲ書入シ又ハ  
其一部ヲ賣却シ又ハ支用シテ處分スルトキ積荷關係  
者其賠償請求ニ付キ船舶及運賃ヨリ全ク辨償ヲ受ル  
事不能ハサル喪失(第五百九條第五百十條第六百十三  
條)ハ海難大損失ノ原則ニ從ヒ積荷關係者ノ總員之ヲ  
擔當スヘキモノトス

其喪失ヲ檢出スルニ方リ積荷關係者トノ關係ニ付テ  
ハ總テノ場合特ニ第六百十三條第二項ノ場合ニ於テ  
モ亦第七百十三條ニ記載シタル補償標準トナルモノ

トス賣却シタル荷物ハ海難大損失ノ生スルトキ其損  
失ニ付テモ亦此補償ヲ定ル價額ヲ以テ出金スルモノ  
トス(第七百二十條)

第七百三十五條 其他海難大損失ノ原則ニ從ヒ分配ス  
ヘキ損害及費用ニ付テハ第六百三十七條標準トナル  
モノトス

第六百三十七條及第七百三十四條ノ場合ニ於テ支拂  
フヘキ出金及生スル補償ハ法律上總テノ關係ニ於テ  
海難大損失ノ場合ニ於ケル出金及補償ト同一ナリト  
ス

第二節 船舶ノ衝突ニ依リ生スル損害

第七百三十六條 二個ノ船舶衝突シ及一方又ハ雙方ニ



於テ其衝突ニ依リ單ニ船舶又ハ積荷又ハ船舶及積荷  
ヲ損傷シ又ハ全ク喪失スルトキ一方ノ船舶乗組員其  
過失ニ依リ其衝突ヲ生セシメタル場合ニアリテハ其  
船主第四百五十一條及第四百五十二條ニ從ヒ衝突ニ  
依リ他ノ船舶及其積荷ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ  
義務アルモノトス

其兩船舶ノ積荷ノ所有者ハ損害ヲ償フ爲メ出金スル  
ノ義務ナキモノトス

船舶乗組員自己ノ過失ノ結果ヲ負擔スル無限責任ハ  
本條ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス

第七百三十七條 此兩船舶又ハ他ノ船舶ノ乗組員ノ執  
レニモ過失ノ歸セサルトキ又ハ雙方ノ過失ニ依リ衝

突ヲ生シタルトキハ此船舶又ハ他ノ船舶又ハ兩船舶  
ニ加ヘタル損害ノ賠償ニ付キ請求スルコトヲ得ス

第七百三十八條 前二條ハ兩船舶又ハ此船舶又ハ他ノ  
船舶航行又ハ漂流又ハ碇泊又ハ繫留中ナルト否トヲ  
分タス之ヲ適用スルモノトス

第七百三十九條 衝突ニ依リ損傷シタル船舶港ニ達ス  
ルコトヲ得ル前沈没スルトキ船舶ノ沈没ハ衝突ノ結  
果ナリシト推測スルモノトス

第七百四十條 船舶權制水先案内者ノ運用中ニアリタ  
ル場合ニシテ船舶乗組員自己ニ負擔スル義務ヲ盡シ  
タルトキ其船主ハ其水先案内者ノ過失ニ出テタル衝  
突ニ依リ生シタル損害ニ付キ責任ヲ免ル、モノトス



第七百四十一條 此節ノ規定ハ船舶三個以上衝突スルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス  
 此場合ニ於テ衝突一方ノ船舶乗組員ノ過失ニ出テタルトキ其船主ハ其船舶ト他ノ船舶トノ衝突ニ依リ他ノ船舶ト第三船舶トノ衝突ヲ惹起シタルカ爲メ生スル損害ニ付テモ亦責任ヲ負擔スルモノトス

第九章 海難ニ於ケル救護及救助

第七百四十二條 海難ニ於テ船舶又ハ其積荷ノ全部又ハ一部船舶乗組員ノ處分ヲ離レ又ハ乗組員ヨリ拋棄セラレシ後他人之ヲ收得シテ保全ニナストキ其他人ハ救護報酬ノ請求權ヲ有スルモノトス  
 前項ノ場合ノ外船舶又ハ其積荷他人ノ救助ニ依リ海

難ヨリ救ハル、トキ其他人ハ單ニ救助報酬ノ請求權ヲ有スルモノトス

難破シ又ハ危險ニ罹リタル船舶乗組員ニハ救護報酬又ハ救助報酬ノ請求權屬セサルモノトス

第七百四十三條 尙ホ海難中救護報酬又ハ救助報酬ノ額ニ付キ契約ヲ取結ヒタルトキハ約束シタル報酬ノ著シク過度ナルカ爲メ其契約ニ對シ不服ヲ唱へ及其報酬ヲ狀況ニ應スル度ニ減スルコトヲ得

第七百四十四條 契約ナキ場合ニ於テ救護報酬又ハ救助報酬ノ額ハ裁判官場合ノ總テノ狀況ヲ斟酌シ衡平ノ見込ヲ以テ之ヲ金錢ニ確定スルモノトス  
 第七百四十五條 救護報酬又ハ救助報酬ハ同時ニ救護



及救助ノ爲メナシタル支出ノ補償ヲ包含スルモノトス  
官署ノ費用及手数料救護又ハ救助セラレタル物件ヨ  
リ支拂フヘキ關稅及其他ノ諸稅及其物件ノ保管維持  
價額評定及賣却ノ費用ハ救護報酬又ハ救助報酬ニ包  
含セラレサルモノトス

第七百四十六條 救護報酬又ハ救助報酬ノ額ヲ定ルニ  
方リテハ特ニ證明セラレタル盡力費シタル時間ナシ  
タル勞役ナシタル支出勞働シタル人ノ員數其人ノ身  
體及其船舶ノ被リタル危險并ニ救護又ハ救助セラレ  
タル物件ノ被ラントシタル危險及費用第七百四十五  
條第二項ヲ引去リタル後殘リタル物件ノ價額ヲ計算  
ニ立ルモノトス

第七百四十七條 救護報酬又ハ救助報酬ハ雙方同意ノ  
申立テナクシテ救護又ハ救助セラレタル物件ノ價額  
ノ割合部分ニ應シ之ヲ確定スルコトヲ許サス

第七百四十八條 救護報酬ノ額ハ救護セラレタル物件  
第七百四十六條ノ價額ノ三分之一ヲ超ユヘカラス  
非常ノ盡力及危險ヲ以テスルニゾラサレハ救護スル  
コト能ハサル場合ニシテ同時ニ其救護セラレタル物  
件ノ價額一層低價ナルトキハ之ヲ例外トシ其額ハ價  
額ノ二分一マテ増加スルコトヲ得

第七百四十九條 救助報酬ハ同一ノ狀況ニシテ救護報  
酬ニ達シタルヘキ額以内ニ毎ニ之ヲ確定スヘキモノ  
トス救助報酬ヲ定ルニ方リ救助セラレタル物件ノ價



額ハ單ニ參考ニ取ルヘキモノトス

第七百五十條 數人救護又ハ救助ニ關係シタルトキ救護報酬又ハ救助報酬ハ其各人ノ身體上及物件上供給ニ應シテ其數人ニ之ヲ分配シ其疑シキ場合ニ於テハ平均ニ之ヲ分配スルモノトス

同一ノ危險ニ於テ人ノ救助ニ從事シタル者モ亦同一ノ分配ヲ受ルノ權アルモノトス

第七百五十一條 船舶又ハ其積荷ノ全部又ハ一部他ノ船舶ヨリ救護又ハ救助セララル、トキ其救護報酬又ハ救助報酬ハ契約ニ別段ノ定メナキトキニ限り他ノ船舶ノ船主船長及其他ノ乗組員ノ間ニ於テ分配シ船主ハ二分一船長ハ四分一及其他ノ乗組員モ亦合シテ四

分一ヲ受ルモノトス其乗組員間ノ分配ハ各人ニ屬スル給料又ハ其等級ニ應シ屬スヘキ給料ノ割合ヲ以テ之ヲナスモノトス

第七百五十二條 左ニ掲ル者ハ一モ救護報酬及救助報酬ノ請求權ヲ有セサルモノトス

第一 何人タリトモ其勞役ヲ強テナシタル者特ニ現在スル船長ノ許可ヲ受ルコトナクシテ船舶ニ乗込ミタル者

第二 何人タリトモ救護シタル物件ヲ船長所有者又ハ管轄官署ニ速ニ届出テサリシ者

第七百五十二條 救護報酬及救助報酬ヲモ亦算入スル救護費用及救助費用ニ付キ債主ハ救護又ハ救助セラ



レタル物件ノ質主權ヲ有シ同時ニ保證ヲナスマテ救護シタル物件ノ留置權ヲ有スルモノトス

質主權ノ申立ニ付テハ第六百九十七條第二項及第三項ノ規定ヲ適用スルモノトス

第七百五十四條 船長ハ債主ニ辨償又ハ保證ヲナスノ前荷物ノ全部及一部ヲ引渡スコトヲ許サス之ニ反スルトキ船長ハ債主ニ對シ無限ノ義務ヲ有スルモノトス但債主引渡ノ時引渡サレタル荷物ヨリ辨償ヲ得タルヘキ部分ニ限ル

船主船長ノ處分ヲ差圖シタルトキハ第四百七十九條

第二項及第三項ノ規定ヲ適用スルモノトス

第七百五十五條 救護費用及救助費用ヲ支拂フ爲メノ

無限ノ義務ハ救護又ハ救助ニ依リ自ラ生スルコトナキモノトス

但荷物ノ受取人ハ荷物受取ノ際救護費用又ハ救助費用ヲ其荷物ヨリ支拂フヘキコトヲ知了シタルトキハ其費用ニ付キ無限ノ義務ヲ有スルモノトス其費用ハ引渡ヲナサ、リシ場合ニ於テ其荷物ヨリ支拂フコトヲ得タルヘキ部分ニ限ル

尙ホ他ノ物件引渡サレタル荷物ト共ニ救護セラレ又ハ救助セラレタルトキ荷物受取人ノ無限ノ義務ハ總テノ物件ニ付テノ費用ヲ分配スルノ際引渡サレタル荷物ニ歸スル額ヲ超過セサルモノトス

第七百五十六條 此章ノ規定ヲ補充スルハ之ヲ各邦法



律ニ任カス

各邦法律ハ救護報酬又ハ救助報酬ノ支拂義務又ハ其額ニ付キ司法裁判(第七百四十四條)ヲ求ルノ權利ヲ害スルコトナクシテ裁判所外ノ官署ニ於テ裁決スヘキコトヲ定ルヲ得

敵ニ掠奪セラレタル船舶ノ取戻シニ關スル各邦法律ノ規定ハ此章ノ規定ノ爲メ變更ヲ受ルコトナキモトス

第十章 船舶債主

第七百五十七條 左ニ掲ル要求ハ船舶債主ノ權ヲ與ル

モノトス

第一 船舶ノ權制賣却ノ費用但此費用ニハ代價分

配費用并ニ權制賣却ノ着手又ハ其着手ニ先立テ

タル差押以來船舶及其附屬品ノ監護保管及維持

ノ費用アルトキハ其費用モ亦屬スルモノトス

第二 船舶ヲ權制執行ヲ以テ賣却シタル場合ニ於

テ船舶最終ノ港ニ乘廻シタル以來船舶及其附屬

品ノ監護及保管ノ費用ニシテ第一ニ包含セザル

モノ

第三 船稅航海稅及港稅特ニ浮標料燈臺料檢疫料

及入港料

第四 職務契約及給料契約ヨリ生スル船舶乗組員

ノ要求

第五 水先案内料并ニ救護費用救助費用買戻費用



及取戻費用

第六 海難大損失ニ於ケル船舶ノ出金

第七 船舶書入セラレタル書入債主ノ要求并ニ船舶ノ共同所有者又ハ單獨所有者ナルト否トナ間ハス船長其資格ヲ以テ船籍港外ニ船舶ノ滞在中海難ノ場合ニ於テ取結ヒタル信用取引第四百九十七條第五百十條ヨリ生スル要求又ハ信用ヲ與ヘサルモ船長ニ其資格ヲ以テ船籍港外ニ船舶ノ滞在中海難ノ場合ニ於テ船舶ノ維持又ハ航海執行ノ爲メナシタル供給又ハ辨濟ニ付テノ要求ハ其信用取引ヨリ生スル要求ト同一ナリトス但此供給又ハ辨濟ハ需求ヲ充タス爲メ必要ナリシモ

ノニ限ル

第八 積荷及第六百七十四條第二項ニ掲ケタル旅

ヒ荷物ヲ引渡リス又ハ損傷シタル爲メノ要求

第九 船長其資格ヲ以テ其法律上權限ニ依リ特別

委任ニ依ラスシテ取結ヒタル契約第四百五十二

條第一ヨリ生スル要求ニシテ前諸項ニ屬セサル

モノ并ニ船主ノ取結ヒタル契約ノ不履行又ハ其

履行ノ不充分又ハ瑕缺ヨリ生スル要求ニシテ前

諸項ノ一ニ屬セサルモノ但其契約ノ執行船長ノ

職務上義務ニ屬シタルトキニ限ル(第四百五十二

條第二)

第十 船舶乗組員同時ニ船舶ノ共同所有者又ハ單



獨所有者ナルト否トナ問ハス其乗組員ノ過失ヨ  
リ生スル要求第四百五十一條第四百五十二條第  
三

第七百五十八條 船舶未タ書入テ以テ抵當トナサ、ル  
船舶債主ハ船舶及其附属品ニ付キ法律上質主權ヲ有  
スルモノトス

其質主權ハ船舶ノ他ノ現有者ニ對シ之ヲ實行スルコ  
トヲ得ルモノトス

第七百五十九條 各船舶債主ノ法律上質主權ハ其他其  
要求ノ生シタル航海ノ總運賃ニ及フモノトス

第七百六十條 此章ニ謂ヘル航海ト看做スモノハ船舶  
ヲ新ニ艤裝スル航海又ハ新ナル運送契約ニ依リ又ハ

積荷全部ノ荷卸後ニ始ル航海ナリトス

第七百六十一條 第七百五十七條第四ニ掲ケタル船舶  
債主ハ以後ノ航海ニ依リ生シタル要求ニ付キ同時ニ  
前航海ノ運賃ニ付テ法律上質主權ヲ有スルモノトス  
但各種ノ航海ヲ同一ノ職務契約及給料契約ヲ以テナ  
ストキニ限ル(第五百二十一條第五百三十六條第五百  
三十八條第五百五十四條)

第七百六十二條 第六百八十條ニ依リ船舶書入債主ニ  
属スル質主權ニモ亦其他ノ船舶債主ノ法律上質主權  
ニ付キ現行スル同一ノ規定ヲ適用スルモノトス  
但船舶書入債主ノ質主權ノ範圍ハ船舶書入契約ノ旨  
趣ニ依テ定マルモノトス(第六百八十一條)



第七百六十三條 一船舶債主ニ属スル質主權ハ元金利子、船舶書入保險料及費用ニ付テモ亦同一ノ効力ヲ有スルモノトス

第七百六十四條 自己ノ質主權ヲ申立ル船舶債主ハ船主又ハ船長ニ對シ出訴スルコトヲ得船長ニ對シテハ船舶本籍港ニ碇泊スルトキ(第四百九十五條)ニモ亦出訴スルコトヲ得

船長ニ對シテ言渡シタル判決ハ質主權ニ關シテハ船主ニ對シテ効力ヲ有スルモノトス

第七百六十五條 船舶債主ノ權利ハ船主其要求ノ其起生ノ際又ハ其後併セテ無限ノ義務ヲ負擔シタルモ之カ爲メ變更ヲ受ルコトヲキモノトス

此規定ハ特ニ職務契約及給料契約ヨリ生スル船舶乗組員ノ要求ニ適用スルモノトス(第四百五十三條)

第七百六十六條 船舶船主組合ニ属スルトキ船舶及運賃ハ船舶船主一名ノミニ属セシトキト同一ニ船舶債主ニ對シ責任ヲ負擔スルモノトス

第七百六十七條 船舶債主ノ船舶ニ付テノ質主權ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

第一 内國ニ於テ權制執行ニ依リ船舶ヲ賣却シタルトキ但其代價ハ船舶債主ノ爲メ船舶ニ代ルモノトス

船舶債主ハ其權利ヲ保護スル爲メ公告ヲ以テ督促セララルヘキモノトス其他賣却ノ手續ニ關スル



規定ハ之ヲ各邦法律ニ任カスモノトス

第二 船長已ムヲ得サル場合ニ於テ其法律上ノ權

限ニ依リ船舶ヲ賣却シタルトキ(第四百九十九條)

但其代價買主之ヲ支拂ハス又ハ未タ船長ノ手ニ

存スル間ハ船舶債主ノ爲メ船舶ニ代ルモノトス

第七百六十八條 其他ノ賣却ノ場合ニ於テモ亦船舶債

主其質主權ヲ届出ル爲メ公告ヲ以テ督促セラル、モ

其効ナカリシトキ又ハ船舶債主本籍港又ハ内國ノ港

ニ船舶ノ碇泊シタル後一定ノ期限内ニ管轄官署ニ届

出サリシトキ質主權ノ消滅スルコトヲ定ルハ之ヲ各

邦法律ニ任カスモノトス

第七百六十九條 第七百六十七條ハ船舶ノ全部ニアラ

スシテ一個又ハ數個ノ船舶持部ノミヲ賣却シタルト

キハ之ヲ適用セサルモノトス

第七百七十條 權制賣却ノ費用(第七百五十七條第一)及

最終ノ港ニ乗廻シタル以來船舶ノ監護及保管ノ費用

(第七百五十七條第二)ハ船舶ニ付キ船舶債主ノ總テ其

他ノ需求ニ對シ先取權ヲ有スルモノトス

權制賣却ノ費用ハ最終ノ港ニ乗廻シタル以來ノ監護

及保管ノ費用ニ先行スルモノトス

第七百七十一條 其他ノ要求中最後ノ航海(第七百六十

條)ニ關スル要求ハ其航海ヲ終リタル後生シタル要求

ヲモ併セ以前ノ航海ニ關スル要求ニ先行スルモノト

ス



最後ノ航海ニ關セサル要求中以後ノ航海ニ關スル要求ハ以前ノ航海ニ關スル要求ニ先行スルモノトス但第七百五十七條第四ニ掲ケタル船舶債主ハ以前ノ航海ニ關スル要求ニ付キ各種ノ航海ヲ同一ノ職務契約及給料契約ヲ以テナストキニ限り以後ノ航海ニ關スル要求ニ付キ有スルト同一ノ先取權ヲ有スルモノトス

船舶書入航海第七百六十條ニ謂ヘル數個ノ航海ヲ包含スルトキ船舶書入債主ハ其航海中最初ノ航海ヲ終リタル後始メタル以後ノ航海ニ關スル要求ヲ有スル船舶債主ニ後行スルモノトス

第七百七十二條 同一ノ航海ニ關スル要求并ニ同一ノ

航海ニ關スルモノト看做スヘキ要求(第七百七十一條)

ハ左ノ順序ニ於テ支拂ヲ受ルモノトス

第一 船稅航海稅及港稅(第七百五十七條第三)

第二 職務契約及給料契約ヨリ生スル船舶乗組員

ノ要求(第七百五十七條第四)

第三 水先案内料并ニ救護費用救助費用買戻費用

及取戻費用(第七百五十七條第五)海難大損失ニ付

テノ船舶ノ出金(第七百五十七條第六)避難港ニ於

テ船長ノ取結ヒタル船舶書入契約其他ノ信用取

引ヨリ生スル要求并ニ此要求ト同視スヘキ要求

(第七百五十七條第七)

第四 荷物及旅ヒ荷物ヲ引渡サス又ハ損傷シタル



爲メノ要求(第七百五十七條第八)

第五 第七百五十七條ノ第九及第十ニ掲ケタル要求

第七百七十三條 第七百七十二條ノ第一第二第四及第五ニ掲ケタル要求中其同項ニ掲ケタルモノハ同等ナリトス

第七百七十二條第三ニ掲ケタル要求ハ之ニ反シテ以後ニ生シタルモノハ以前ニ生シタルモノニ先行スルモノトス同時ニ生シタルモノハ同等ナリトス 船長同一ノ危難ニ依リ各種ノ契約ヲ取結ヒタルトキ(第七百五十七條第七)之ヨリ生シタル要求ハ同時ニ生シタルモノト看做ス

信用取引特ニ第七百七十二條ノ第三ニ掲ケタル以前ノ要求ヲ支拂フ爲メ船長ノ取結ヒタル船舶書入契約ヨリ生スル要求并ニ此以前ノ要求ノ支拂期限ヲ延期スル爲メ又ハ其要求ヲ承認シ又ハ新更スル爲メ船長ノ取結ヒタル契約ヨリ生スル要求ハ其信用取引又ハ契約ニシテ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナリシトキト雖亦以前ノ要求ニ屬セシト同一ノ先取權ノミチ有スルモノトス

第七百七十四條 運賃ニ付テノ船舶債主ノ質主權ハ(第七百五十九條)未タ運賃ヲ支拂ハス又ハ其運賃船長ノ手ニ存スル間ニ限り効力ヲ有スルモノトス 此質主權ニ付テモ亦前數條ニ於テ順序ニ付キ定メタ



ル規定ヲ適用スルモノトス  
運賃ヲ讓渡シタル場合ニ於テ船舶債主ノ質主權ハ未  
タ其運賃ヲ支拂ハス又ハ其運賃未タ船長ノ手ニ存ス  
ル間ハ其讓受人ニ對シテモ亦之ヲ申立ルコトヲ得ル  
モノトス

船主運賃ヲ取立テタルトキ之カ爲メ質主權ノ全部又  
ハ一部ヲ失フ船舶債主ニ對シテハ無限責任ヲ負擔ス  
ルモノトス但各船舶債主ニ對シテハ取立テタル額ヲ  
分配スルノ際法律上ノ順序ニ從ヒ之ニ與ル額ヲ以テ  
責任ヲ負擔スルモノトス

船主ノ此無限責任ハ自己ノ計算ヲ以テ引渡シタル荷  
物ニ付キ其引渡ノ際其地慣例ノ運賃ニ付キ生スルモ

ノトス

第七百七十五條 船主運賃ニ付キ質主權ヲ有セシ一名  
又ハ數名ノ債主ニ辨償スル爲メ運賃ヲ支出シタルト  
キハ先取權ヲ有セシ債主ニ對シ知リツ、不足ヲ生セ  
シメタルコトヲ證明セラル、部分ニ限り責任ヲ負擔  
スルモノトス

第七百七十六條 船主第七百六十七條第一及第二ニ掲  
ゲタル場合ニ於テ其代價ヲ取立テタルトキハ取立テ  
タル額ヲ以テ運賃ヲ取立テタル場合ニ於ケル航海ノ  
債主ニ對スル第七百七十四條第七百七十五條ト同一  
ニ總船舶債主ニ對シ無限責任ヲ負擔スルモノトス  
第七百七十七條 船主船舶及運賃ノミヲ以テ責任ヲ負



擔スル船舶債主ノ要求ヲ知了シタル後船舶債主ノ爲  
 メ必要ナルコトナクシテ新ナル航海(第七百六十條)ノ  
 爲メ船舶ヲ出航セシムルトキハ其要求ニ付キ航海ヲ  
 始ルノ際船舶ノ有セシ價額ヲ法律ノ順序ニ從ヒ船舶  
 債主ニ分配シタルニ於テハ其債主ノ得ヘカリシ額ヲ  
 以テ同時ニ無限責任ヲ負擔スルモノトス  
 反對ノ證據アルマテハ債主此分配ノ際充分ノ辨償ヲ  
 得タリシモノト看做スモノトス  
 債主ニ對シ責任ヲ負擔スル運賃ヲ取立テタルヨリ生  
 スル船主ノ無限ノ義務(第七百七十四條)ハ本條ニ依テ  
 變更セザルモノトス  
 第七百七十八條 海難大損失ノ場合ニ於ケル投棄又ハ

損傷ニ付テノ補償ハ船舶債主ノ爲メ補償ヲ受ル物ニ  
 代ルモノトス

船舶喪失又ハ損傷シタル場合ニ於テ又ハ荷物ヲ喪失  
 又ハ損傷シタル爲メ失フタル運賃ニ付キ不法ノ行爲  
 ニ依リ損害ヲ生セシメタル者ヨリ船主ニ支拂フヘキ  
 損害賠償ニ付テモ亦前項同一ナリトス  
 船主補償又ハ償金ヲ取立テタルトキハ其取立テタル  
 額ヲ以テ運賃ヲ取立テタル場合ニ於ケル航海ノ債主  
 ニ對スル(第七百七十四條第七百七十五條)ト同一ニ船  
 舶債主ニ對シ無限責任ヲ負擔スルモノトス  
 第七百七十九條 質主權ヲ實行スル船舶債主他ノ質取  
 債主又ハ其他ノ債主ト競争スル場合ニ於テハ船舶債



主先取權ヲ有スルモノトス

第七百八十條 船舶債主ノ質主權ニ關スル第七百六十七條及第七百六十九條ノ規定ハ各邦法律ニ從ヒ契約又ハ法律ニ依リ船舶又ハ船舶持部ニ付テ得有シ及他ノ現有者ニ對シテ實行スルコトヲ得ル其他ノ質主權ニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第七百六十七條第一ノ規定ハ船舶持部ノ權制賣却ノ場合ニ於テ其持部ノ責ニ屬スル質主權ニ付テモ亦適用スルモノトス

其他本條第一項ニ掲ケタル質取債主ノ權利ハ本章ノ規定ニ依ラス各邦法律ニ依テ判定スルモノトス

第七百八十一條 運賃船舶書入金海難大損失ノ出金及

救護費用及救助費用第六百二十四條第六百二十六條第六百八十條第七百二十七條第七百五十三條ニ付キ荷物ノ責ニ屬スル質主權中運賃ニ關スルモノハ總テ其他ノモノニ後行ス此他ノモノ間ニ於テハ以後ニ生シタルモノハ以前ニ生シタルモノニ對シ先取權ヲ有シ同時ニ生シタルモノハ同等ナリトス同一ノ危難ニ依リ船長ノ取結ヒタル契約ヨリ生スル要求ハ同時ニ生シタルモノト看做ス

海難大損失及不法ノ行爲ヨリ生スル喪失又ハ損傷ノ場合ニ於テハ第七百七十八條ノ規定ヲ適用シ喪失ヲ防止又ハ減少スル爲メ第五百四條第三項ニ依リ船長ノチシタル賣却ノ場合ニ於テハ第七百六十七條第二



ノ規定ヲ適用シ及自己ノ計算ヲ以テ賣却ヲナシタル者其代價ヲ取立テタルトキハ第七百七十六條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第十一章 航海ノ保險

第一節 普通ノ原則

第七百八十二條 船舶又ハ積荷航海ノ危險ヲ凌クコトニ付テ有スル各個ノ利益ニシテ金錢ニ評價スルヲ得ルモノハ海上保險ノ物件トナルコトヲ得

第七百八十三條 特ニ保險セラレ、コトヲ得ルモノハ左ノ物件ナリトス

船舶  
運賃

渡航賃

荷物

船舶書入金

海難損失金

其他ノ要求ニシテ船舶運賃渡航賃又ハ荷物ヲ以テ

其引當トナスモノ

荷物ノ到着地ニ達スル後豫期スヘキ利益(想像利益)

得ヘキ手数料

保險者ノ引受ケタル危險(復保險)

此保險中ノ一ニハ他ノ保險ヲ包含セサルモノトス

第七百八十四條 船長及船舶乗組員ノ給料要求ハ之ヲ保險スルコトヲ得ス



第七百八十五條 保險依頼人ハ自己ノ利益自己ノ爲メ  
 ニスル保險又ハ他人ノ利益他人ノ計算ノ爲メニスル  
 保險ヲ保險セシムルコトヲ得及他人ノ利益ノ爲メニ  
 スル場合ニ於テハ被保險者本人ヲ指名シ又ハ指名ス  
 ルコトヲクシテ保險セシムルコトヲ得  
 自己ノ計算ノ爲メ又ハ他人ノ計算ノ爲メ保險ヲナサ  
 シムルヤ(不定人ノ計算ノ爲メニスルヤ)ヲ契約ニ定メ  
 サルコトヲモ得不定人ノ計算ノ爲メニスルヤヲ定メ  
 ガル保險ニアリテ他人ノ計算ノ爲メ保險セシメタル  
 コトノ判然スルトキハ他人ノ計算ノ爲メニスル保險  
 ニ付テノ規定ヲ適用スルモノトス  
 他人ノ計算ノ爲メ又ハ不定人ノ計算ノ爲メ保險セシ

メタルヤ契約ニ於テ判然セザルトキ保險ハ保險依頼  
 人自己ノ計算ノ爲メ契約シタルモノト看做ス

第七百八十六條 他人ノ計算ノ爲メニスル保險ハ保險  
 依頼人保險契約取結ノ爲メ被保險者ヨリ囑託セラレ  
 シトキ又ハ此囑託ノ瑕疵ヲ保險依頼人ヨリ契約取結  
 ノ際保險者ニ告知スルトキニ限り保險者ノ責ニ歸ス  
 ルモノトス  
 此告知ヲナサ、ルトキ囑託ノ瑕疵ハ被保險者保險ヲ  
 後日承諾スルモ之ヲ以テ補フコトヲ得ス  
 此告知ヲナシタルトキ保險者ニ歸スル保險ノ責ハ被  
 保險者ノ後日ノ承諾ニ依リ變更スルコトヲキモノト  
 ス



本條ノ規定ニ從ヒ保險契約ニ依リ責ヲ負擔セサル保險者ハ其契約ノ責ナキコトヲ申立ルトキト雖保險料全額ヲ請求スルノ權アルモノトス

第七百八十七條 受託人又ハ事務擔當人ニ於テ囑託ナクシテ被保險者ノ名ヲ以テ又ハ被保險者ノ其他ノ代人ニ於テ其名ヲ以テ保險契約ヲ取結ヒタルトキ此法ノ意義ニ於テハ代人ハ保險依頼人ニアラス又保險ハ他人ノ計算ノ爲メニスル保險ニアラサルモノトス疑シキ場合ニ於テハ指名セラレタル他人ノ利益ニ關スル保險ト雖他人ノ計算ノ爲メニスル保險ナリト看做スモノトス

第七百八十八條 保險者ハ保險契約ニ付キ自己ノ署名シタル證書(保險證書)ヲ保險依頼人ニ其求メニ依リ交付スルノ義務アルモノトス

第七百八十九條 保險契約取結ノ際賠償スヘキ損害ノ生スヘキコトヲ既ニ免レ又ハ賠償スヘキ損害ノ既ニ生シタルモ保險契約ノ効力ニハ關係ナキモノトス但結約者雙方事情ヲ知了スルトキ其契約ハ保險契約タルノ効力ナキモノトス  
保險者ノミ賠償スヘキ損害ノ生スヘキコトヲ既ニ免レタルコトヲ知了セシトキ又ハ保險依頼人ノミ賠償スヘキ損害ノ既ニ生シタルコトヲ知了セシトキ其契約ハ事情ヲ知了セサリシ一方ニ對シ其効ナキモノトス第二ノ場合ニ於テ保險者ハ契約ノ責ナキコトヲ申



立ルトキト雖保險料全額ヲ請求スルノ權アルモノトス  
 契約ヲ保險依頼人ノ爲メ代人ノ取結フ場合ニアリテ  
 ハ第八百十條第二項ノ規定ヲ適用シ他人ノ計算ノ爲  
 メ保險スル場合ニアリテハ第八百十一條ノ規定ヲ適  
 用シ及數個ノ物件又ハ總テノ物件ヲ保險スル場合ニ  
 アリテハ第八百十四條ノ規定ヲ適用スルモノトス  
 第七百九十條 保險セラレタル物件ノ全價額ハ保險ノ  
 價額ナリトス  
 保險額ハ保險ノ價額ヲ超過スルコトヲ得ス  
 保險額保險價額ヲ超過スル(超額保險)部分ニ限り其保  
 險ハ法律上効ナキモノトス

第七百九十一條 各異ノ保險契約ヲ同時ニ取結フ場合  
 ニ於テ保險ノ總額保險價額ヲ超過スルトキ總テノ保  
 險者ハ共同シテ保險價額ノ高ニ於テノミ責任ヲ負擔  
 シ特ニ各個保險者ハ其保險額保險總額ノ百分ノ幾分  
 ニ相當スル保險價額ノ割合ヲ以テ責任ヲ負擔スルモ  
 ノトス此場合ニ於テ疑アルトキハ契約ヲ同時ニ取結  
 ヒタリト認定スルモノトス  
 數個ノ保險契約ニシテ之ニ付キ共同ノ契約證書ヲ交  
 付シタルモノ並ニ數個ノ保險契約ニシテ同日ニ取結  
 ハレタルモノハ之ヲ同時ニ取結ヒタルモノト看做ス  
 第七百九十二條 既ニ全價額ニ至ルマテ保險セラレタ  
 ル物件ヲ再ヒ保險スルトキ以後ノ保險ハ其物件同時



ニシテ同一ノ危険ニ對シ既ニ保險セラレタル部分ニ  
限リ法律上効ナキモノトス(重保險)

以前ノ保險ヲ以テ全價額ヲ保險セザリシトキ以後ノ  
保險ハ同時ニシテ同一ノ危険ニ對シナシタルトキニ  
限リ未タ保險セラレサル價額ノ部分ニ付テノミ効力  
アルモノトス

第七百九十三條 但以後ノ保險ハ以前ノ保險契約ニ拘

ハラス左ノ場合ニ於テ法律上効力ヲ有スルモノトス

第一 以後ノ契約ヲ取結フノ際其保險者ニ以前ノ  
保險ヨリ生スル權利ヲ讓渡スヘキコトヲ契約ス  
ルトキ

第二 被保險者ニ於テ以前ノ保險者支拂不納トナ

リタルカ爲メ之ニ對シ保險額ヲ受ルコトヲ得ヘ  
カラサル部分又ハ以前ノ保險法律上成リ立タサ  
ル部分ニ限リ以後ノ保險者責任ヲ負擔スルノ制  
限ヲ以テ以後ノ保險契約ヲ取結フトキ

第三 以前ノ保險者棄權ノ通知ヲ以テ重保險ヲ避  
ルニ必要ナル部分ニ限リ其義務ヲ免除セラレ及  
以後ノ保險者以後ノ保險契約ヲ取結フノ際其旨  
ヲ通知セラル、トキ此場合ニ於テハ以前ノ保險  
者ハ其義務ヲ免カル、ト雖保險料全額ヲ請求ス  
ルノ權アルモノトス

第七百九十四條 重保險ノ場合ニ於テ以前ノ保險ヲ他  
人ノ計算ノ爲メ囑託ナクシテナシ之ニ反シテ以後ノ



保險ヲ被保險者本人ノナストキハ最初ニナシタル保險法律上効力ヲ有セスシテ以後ニナシタル保險法律上効力ヲ有スルモノトス但此場合ニ於テ被保險者以後ノ保險契約ヲ取結フノ際以前ノ保險契約ヲ未タ知了セザリシトキ又ハ以後ノ保險契約ヲ取結フノ際以前ノ保險ヲ棄却スルコトヲ以後ノ保險者ニ通知スルトキニ限ル

以前ノ保險者ノ保險料ニ關スル權利ハ此場合ニアリテハ第九百條及第九百一條ノ規定ニ依テ定マルモノトス

第七百九十五條 數個ノ保險契約ヲ同時ニ又ハ漸次ニ取結ヒタルトキ一保險者ニ對シ生シタル權利ヲ以後

ニ拋棄スルモ其他ノ保險者ノ權利及義務ニハ關係ナキモノトス

第七百九十六條 保險額保險價額ニ達セザルトキ保險者ハ一部損害ノ場合ニ於テ保險額ト保險價額トノ割合ニ應シテノミ其損害額ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

第七百九十七條 雙方ノ契約ヲ以テ保險價額ヲ一定額(評定額)ニ定ル(評定保險證書)トキ其評定額ハ雙方間ニ於テ保險價額ノ標準トナルモノトス

但保險者ハ評定額全ク過當ナルコトヲ證明スルトキハ其評定額ノ減少ヲ求ルノ權アルモノトス想像利益ヲ評定シタルトキ保險者ハ其評定額ヲ異議スル場合



ニ於テハ其定額契約ヲ取結フノ際商人間ノ計算ニ依リ豫期スルヲ得ヘキ利益ヲ超過シタルコトヲ證明スヘキモノトス

「假評定」ノ定メヲ掲ケタル保險證書ハ其評定額ヲ確定ノ評定額ニ變換セサル間ハ評定セサル保險證書無評定保險證書ト同視セラル、モノトス  
運賃ヲ保險スルニ方リ保險者ノ賠償スヘキ損害ニ關スル評定額ハ特ニ契約シタルトキニ限り標準トナルモノトス

第七百九十八條 一契約ニ於テ數個ノ物件又ハ其總テノ物件ヲ一保險額ニ包含セラル、モ其各個ニ付キ特別ノ評定額ヲ契約シタルトキ特ニ評定セラレタル物件ハ之ヲ各別ニ保險セラレタルモノト看做スモノトス

第七百九十九條 雙方ニ於テ價額評定ニ付キ別段ノ標準ヲ契約セサルトキニ於テ船舶ノ價額ト看做スモノハ保險者ニ對シ危險ノ生スル時船舶ノ有スル價額ナリトス

此定メハ船舶ノ保險價額ヲ評定シタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第八百條 艤裝費用、給料及保險費用ハ既ニ總運賃額ノ保險ヲ以テ之ヲ保險セサリシ部分ニ限り船舶ト同時ニ又ハ特ニ保險スルコトヲ得又艤裝費用、給料及保險費用ハ契約シタルトキニ限り船舶ト共ニ保險セラレ



タルモノト看做ス

第八百一條 運賃ハ既ニ艤裝費用、給料及保險費用ノ保

險ヲ以テ之ヲ保險セサリシ部分ニ限リ其總額ニ至ル

マテ保險セラル、コトヲ得

運賃ノ保險價額ト看做スモノハ運送契約ニ定メタル

運賃ノ額及一定ノ運賃ヲ契約セカリシトキ又ハ荷物

ヲ船主ノ計算ノ爲メ船積ミシタルモノニ限リ慣例上

運賃ノ額(第六百二十條)ナリトス

第八百二條 運賃保險ノ場合ニ於テ運賃ノ全額又ハ單

ニ其一部ヲ保險シタルヤヲ定メサルトキハ運賃全額

ヲ保險シタルモノト看做スモノトス

總運賃又ハ純運賃ヲ保險シタルヤヲ定メサルトキハ

總運賃ヲ保險シタルモノト看做スモノトス

往航ノ運賃及復航ノ運賃ヲ一保險額ヲ以テ保險シタ

ル場合ニシテ其保險額ノ幾部ヲ往航ノ運賃ニ歸スヘ

キヤ及其幾部ヲ復航ノ運賃ニ歸スヘキヤヲ定メサル

トキハ其二分一ヲ往航運賃ニ計算シ其二分一ヲ復航

運賃ニ計算スルモノトス

第八百三條 雙方ニ於テ價額評定ノ爲メ別段ノ標準ヲ

契約セサリシ場合ニ於テ荷物ノ保險價額ト看做スモ

ノハ荷物引渡ノ地ニ於テ其時荷物ノ有スル價額ニ船

舶マテノ諸費用及保險費用ヲ加算シタルモノナリト

ス

運賃并ニ航海中及到達地ニ於テノ費用ハ契約シタル



モノニ限り之ヲ加算スルモノトス  
本條ノ規定ハ荷物ノ保險價額ヲ評定シタルトキニモ亦之ヲ適用スルモノトス

第八百四條 艤裝費用又ハ給料ハ獨立ナルト又ハ總運賃ノ保險ヲ以テスルトナ問ハス之ヲ保險シタルトキ又ハ荷物ヲ保險スルノ際運賃又ハ航海中及到達地ノ費用ヲ保險シタルトキ保險者ハ災難ノ爲メ餘シタル部分ニ付キ一モ賠償ヲナサ、ルモノトス

第八百五條 荷物ヲ保險スルノ際想像利益又ハ手数料ハ荷物ノ保險價額ヲ評定シタルトキト雖契約ニ定メタルモノニ限り之ヲ共ニ保險セラレタルモノト看做スヘキモノトス

想像利益ノ共同保險ノ場合ニ於テ保險價額ヲ評定シタルモ其評定額ノ幾部想像利益ニ歸スヘキヤヲ定メサルトキハ其評定額ノ百分十想像利益ニ歸スルト看做スモノトス想像利益ノ共同保險ノ場合ニ於テ保險價額ヲ評定セサリシトキハ荷物ノ保險價額第八百三條ノ百分十ヲ想像利益トシテ保險シタルモノト看做スモノトス

第二項ノ規定ハ手数料ノ共同保險ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用スルモノトス但百分二百分十二代ハルモノトス

第八百六條 想像利益又ハ手数料ヲ獨立シテ保險シタルモ保險價額ヲ評定セサリシトキ疑シキ場合ニ於テ



ハ保險額ヲ同時ニ保險價額ノ評定額ト看做スヘキモノト認ルモノトス

第八百七條 船舶書入金ハ船舶書入保險料ヲ併ハセ船舶書入債主ノ爲メ之ヲ保險スルコトヲ得

船舶書入金ヲ保險スルノ際何レノ物件ヲ書入シタルヤナ明記セサリシトキハ船舶運賃及積荷ニ關スル船舶書入金ヲ保險シタルモノト看做スモノトス實際此總テノ物件ヲ書入レセサリシトキハ保險者ニ限り此規定ヲ引用スルコトヲ得

第八百八條 保險者ハ其義務ヲ盡シタルトキ被保險者他人ニ對シ賠償ヲ要求スルノ權アル損害ヲ償フタル部分ニ限り他人ニ對スル被保險者ノ權利ヲ得ルモノ

トス但第七百七十八條第二項及第七百八十一條第二項ノ規定ハ之カ爲メ變更ヲ受ルコトナキモノトス被保險者ハ保險者ノ求メアルトキ之ニ自己ノ費用ヲ以テ他人ニ對スル權利ヲ得タルコトニ付キ公證ヲ得タル承認證書ヲ交付スルノ義務アルモノトス被保險者ハ此權利ヲ妨害スル各個ノ行爲ニ付キ責任ヲ負擔スルモノトス

第八百九條 海難ニ罹リ易キ物件引當トナル要求ヲ保險シタルトキ被保險者ハ損害ノ場合ニ於テ保險者其義務ヲ盡シタル後之ニ負債者ニ對スル自己ノ權利ヲ讓與スルノ義務アルモノトス但保險者賠償ヲナシタル部分ニ限ル



被保險者ハ保險者ニ對シ請求スルノ前負債者ニ對シ  
自己ニ屬スル權利ヲ實行スルノ義務ナキモノトス

第二節 契約ヲ取結フ際ノ告知

第八百十條 保險依頼人ハ自己ノ計算ノ爲メニスル保  
險ノ場合并ニ他人ノ計算ノ爲メニスル保險ノ場合ニ  
於テハ契約ヲ取結フ際自己ニ知了シタル總テノ狀況  
ニシテ保險者ニ於テ擔當スヘキ危険ヲ判定スル爲メ  
重要ナルニ付キ一般ニ契約ヲ取結ヒ又ハ同一ノ條款  
ヲ以テ取結フコトニ付キ保險者ノ決定上ニ影響ヲ及  
スニ適切ナルモノヲ保險者ニ告知スルノ義務アルモ  
ノトス

保險依頼人ニ代リ其代人契約ヲ取結フトキハ代人ノ

知了シタル狀況ヲモ亦告知スヘキモノトス

第八百十一條 他人ノ計算ノ爲メニスル保險ノ場合ニ

於テハ契約ヲ取結フ際被保險者自己又ハ中間受託  
人ノ知了シタル狀況ヲモ亦保險者ニ告知スヘキモノ  
トス

但其狀況ヲ被保險者又ハ中間受託人ノ知了スルコト  
遅クシテ非常ノ處分ヲ用ルニアラサレハ契約ヲ取結  
フノ際保險依頼人ニ其旨ヲ告知スルコト能ハサルト  
キハ其知了ハ之ヲ度外視スルモノトス  
保險ヲ被保險者ノ囑託ナク及承諾ナクシテナシタル  
トキニモ亦被保險者ノ知了ハ之ヲ度外視スルモノト  
ス



第八百十二條 前二條ニ掲ケタル義務ヲ盡サ、ルトキ  
契約ハ保險者ニ對シ其効ナキモノトス  
但此規定ハ告知セサル狀況ヲ保險者ノ知了セシトキ  
又ハ保險者ノ知了シタリト認メ得ルトキハ之ヲ適用  
セサルモノトス

第八百十三條 保險依頼人契約ヲ取結フノ際重要ナル  
狀況(第八百十條)ニ關シ不正ノ告知ヲシタルトキ契  
約ハ保險者ニ對シ其効ナキモノトス但保險者ニ於テ  
其告知ノ不正ナルコトヲ知了セシトキハ此限ニアラ  
ス

此規定ハ其告知ヲ知リツ、又ハ誤謬ニ出テ不正ニナ  
シタルトキ又ハ告知ヲ過失ヲ以テ又ハ過失ナクシテ  
不正ニナシタルトキ問ハス之ヲ適用スルモノトス

第八百十四條 數個ノ物件又ハ其總物件ヲ保險スルノ  
際保險セラレタル物件ノ一部ノミニ關スル狀況ニ付  
キ第八百十條ヨリ第八百十三條マテノ規定ニ背反ス  
ルトキ契約ハ保險者ニ對シ其他ノ部分ニ付キ効力ヲ  
有スルモノトス但契約ハ保險者ニ於テ同一ノ條款ヲ  
以テハ其他ノ部分ヲ保險セサリシコトノ判然スルト  
キハ保險者ニ對シ其部分ニ付テモ亦効力ナキモノト  
ス

第八百十五條 保險者ハ第八百十條ヨリ第八百十四條  
マテノ場合ニ於テハ保險者契約ノ全部又ハ一部ノ無  
効ヲ申立ルトキト雖保險料全額ヲ請求スルノ權アル



モノトス

第三節 保險契約ヨリ生スル被保險者ノ義務

第八百十六條 保險料ハ別段ノ契約ナキトキニ限り契約ヲ取結ヒタル後直ニ之ヲ支拂ヒ契約證書ヲ求ルトキハ其交付ト引替ニテ之ヲ支拂フヘキモノトス

保險依頼人ハ保險料ヲ支拂フノ義務アルモノトス

他人計算ノ爲メニスル保險ノ際保險依頼人支拂不納トナリタル場合ニシテ保險料ヲ被保險者ヨリ未タ受取ラサリシトキ被保險者ハ被保險者ニ對シテモ亦保險料支拂ヲ請求スルコトヲ得

第八百十七條 危險保險者ニ對シ始マラサリシ前ニ保險セラレタル航海ニ代ヘ他ノ航海ヲ始ルトキ被保險者

ハ船舶及運賃ノ保險ニアリテハ各個ノ責任ヲ免カル、モノトス其他ノ保險ニアリテハ保險者ハ航海ノ變更ヲ被保險者ニ於テナサス及被保險者ノ囑託又ハ承諾ヲ以テナサ、リシトキニ限り他ノ航海ニ付テノ危險ヲ負擔スルモノトス

危險保險者ニ對シ始マリタル後保險セラレタル航海ヲ變更スルトキ被保險者ハ航海ヲ變更シタル後始マリタル災難ニ付キ責任ヲ負擔セサルモノトス但保險者ハ其變更ヲ被保險者ニ於テナサス及被保險者ノ囑託又ハ承諾ヲ以テナサ、ルトキ又ハ保險者ニ於テ擔當スヘカラサル危險ニ依リ危難ヲ生スルノ場合ヲ除クノ外危難ニ依リ變更ヲ生シタルトキニ限り其災難ニ